

---

### (3) 露頭観察・コア観察・研磨片観察・薄片観察結果

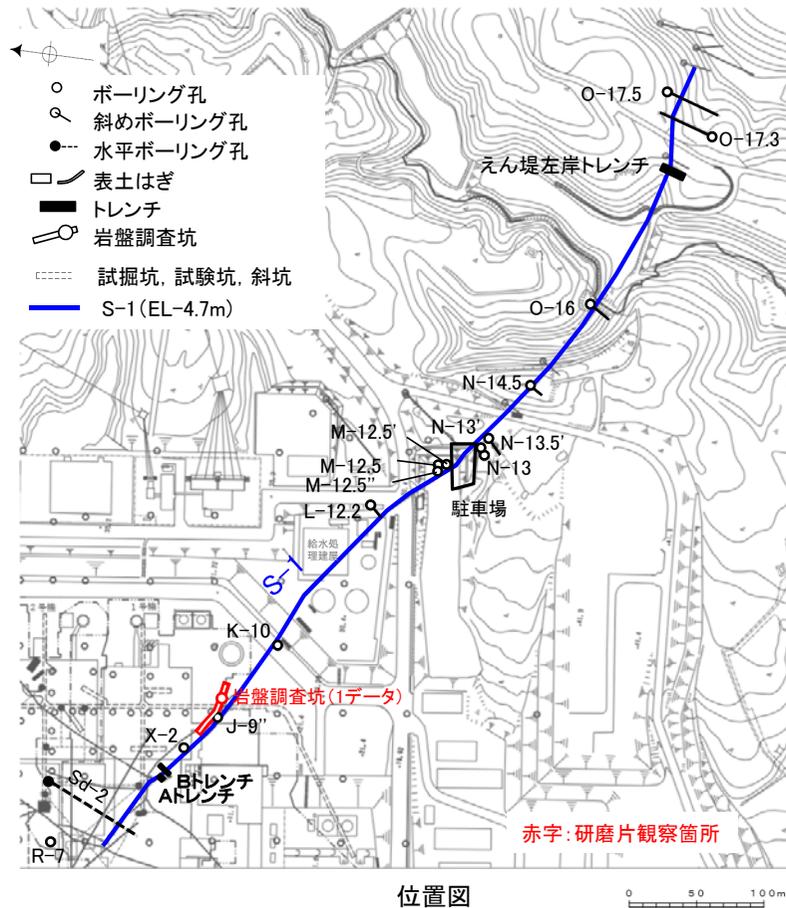
---

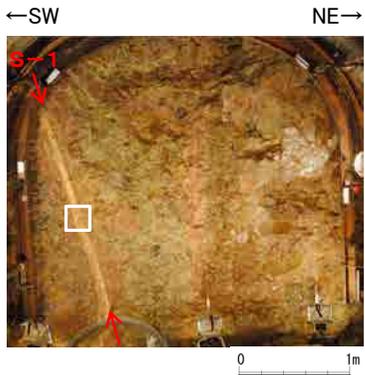
### (3)-1 S-1の研磨片観察結果

# S-1の研磨片観察結果

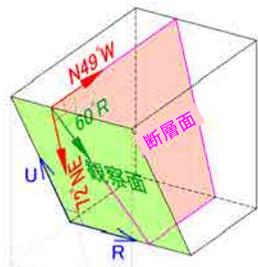
研磨片観察結果(固結した破碎部)	
研磨片番号	変位センス
岩盤調査坑No.23-1_60R	正断層

\* 各研磨片試料は、付近の断層の条線観察結果を踏まえたレイクで切断し、作成した。

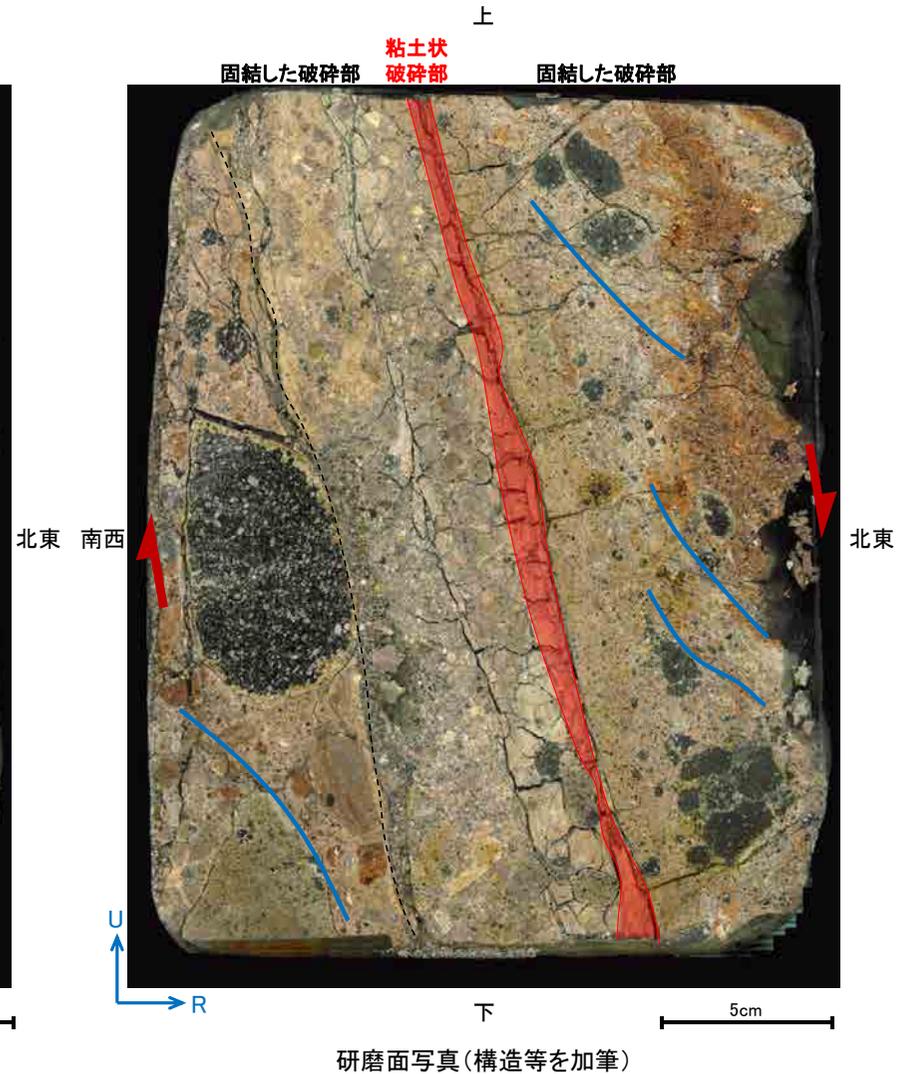
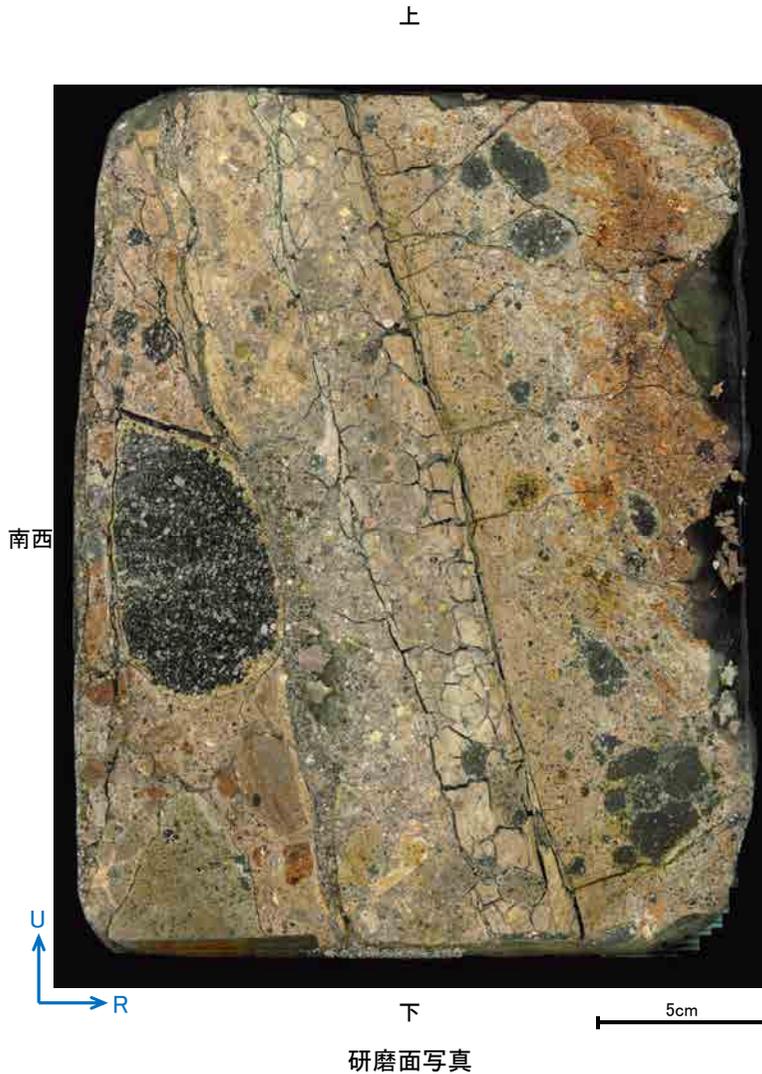




試料採取位置付近(No.23切羽)



観察面概念図  
(岩盤調査坑No.23-1\_60R)



- 凡 例
- P面
  - ➔ 変位方向

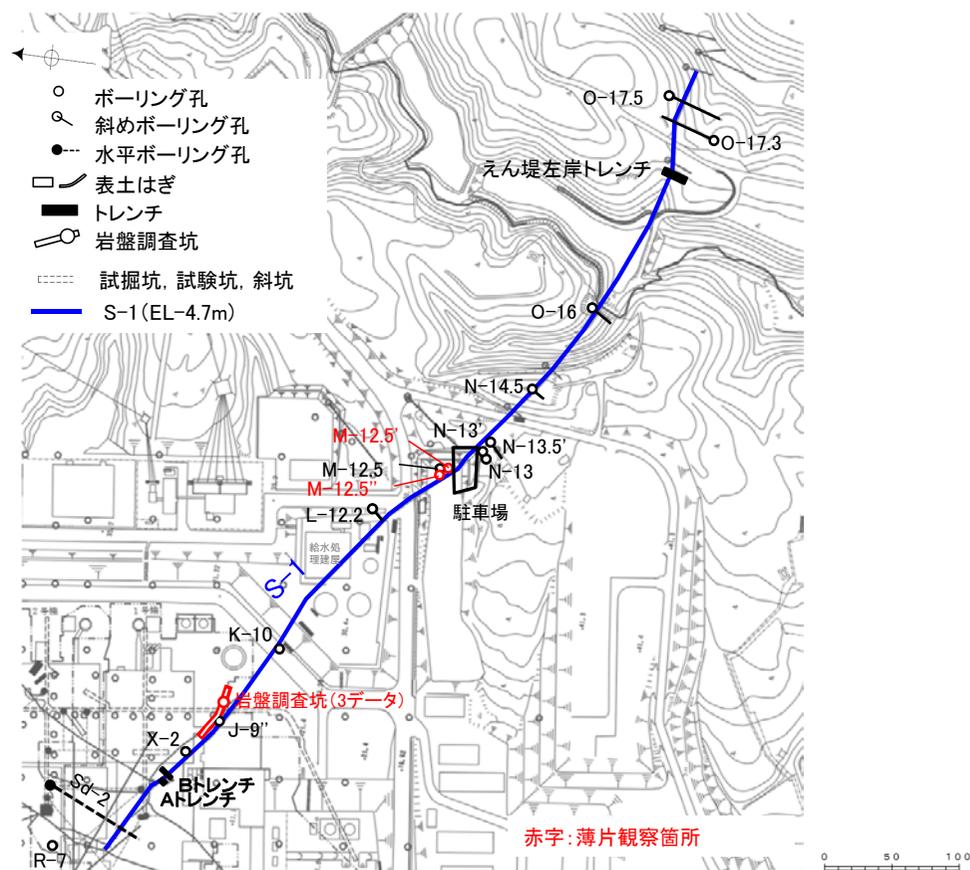
・固結した破砕部中の変形構造から、見かけ上盤側下がりの正断層センスが認定できる。

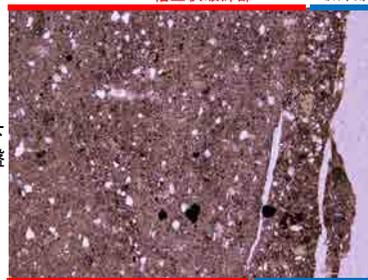
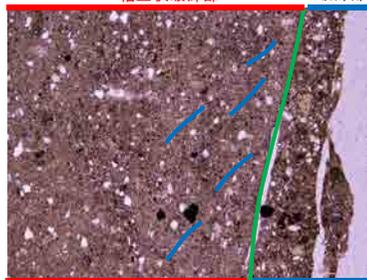
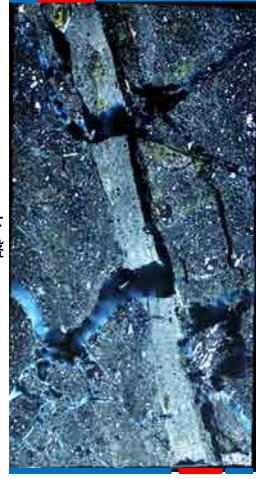
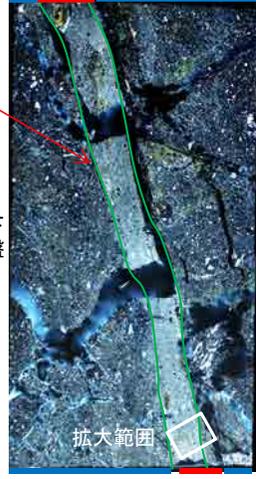
---

## (3)-2 S-1の薄片観察結果

薄片観察結果(粘土状破砕部)	
薄片番号	変位センス
岩盤調査坑No.23-1_60R_2	逆断層
岩盤調査坑No.24-2_40R_2	逆断層
岩盤調査坑No.25-2_40R_1	逆断層
M-12.5'_40R	逆断層
M-12.5'_65R	逆断層

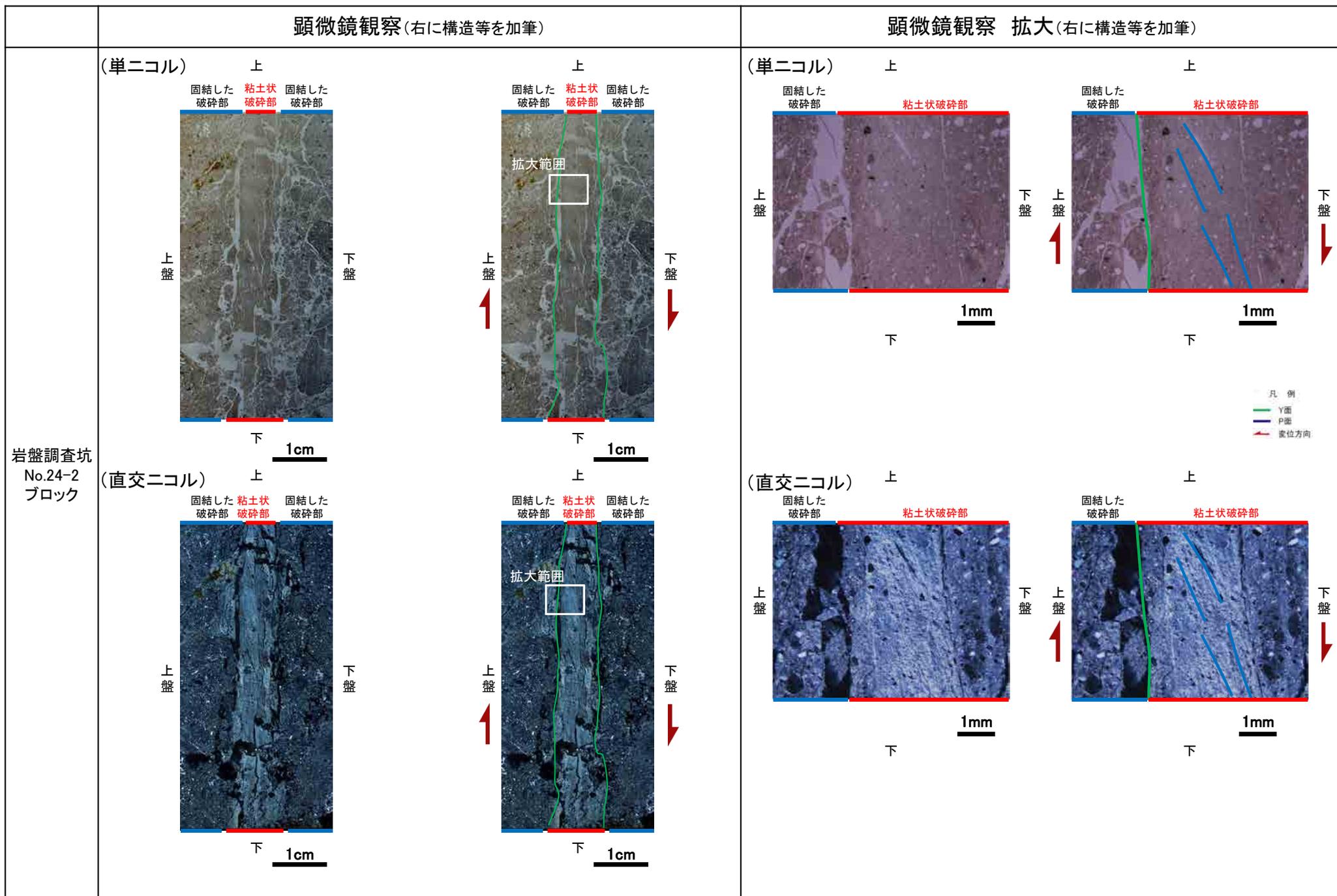
\* 各薄片試料は、付近の断層の条線観察結果を踏まえたレイクで切断し、作成した。



	顕微鏡観察(右に構造等を加筆)	顕微鏡観察 拡大(右に構造等を加筆)
岩盤調査坑 No.23-1 ブロック	<p>(単ニコル) 上</p> <p>固結した 粘土状 破砕部 破砕部 固結した破砕部</p>  	<p>(単ニコル) 上</p> <p>粘土状破砕部 固結した破砕部</p>   <p>凡例 Y面 P面 変位方向</p>
	<p>(直交ニコル) 上</p> <p>固結した 粘土状 破砕部 破砕部 固結した破砕部</p>  	<p>(直交ニコル) 上</p> <p>粘土状破砕部 固結した破砕部</p>  

・粘土状破砕部中の変形構造から、見かけ上盤側上がりの逆断層センスが認定できる。

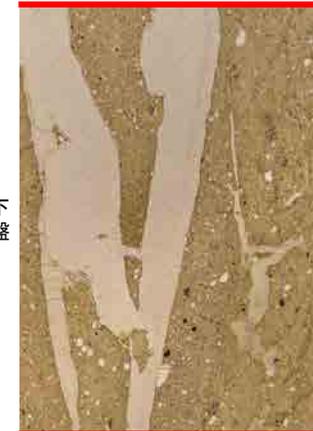
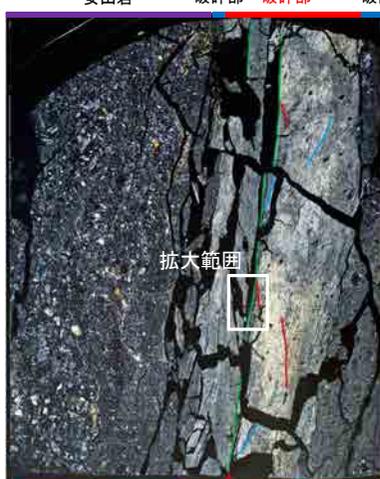
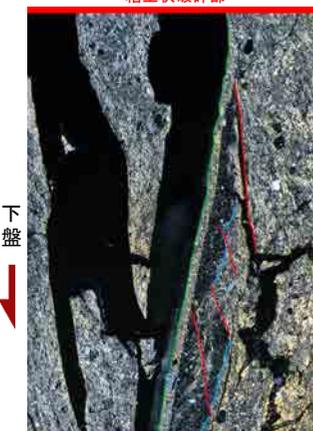
赤字: 第597回審査会合以降に変更した箇所  
(顕微鏡写真 Y面 誤記修正)



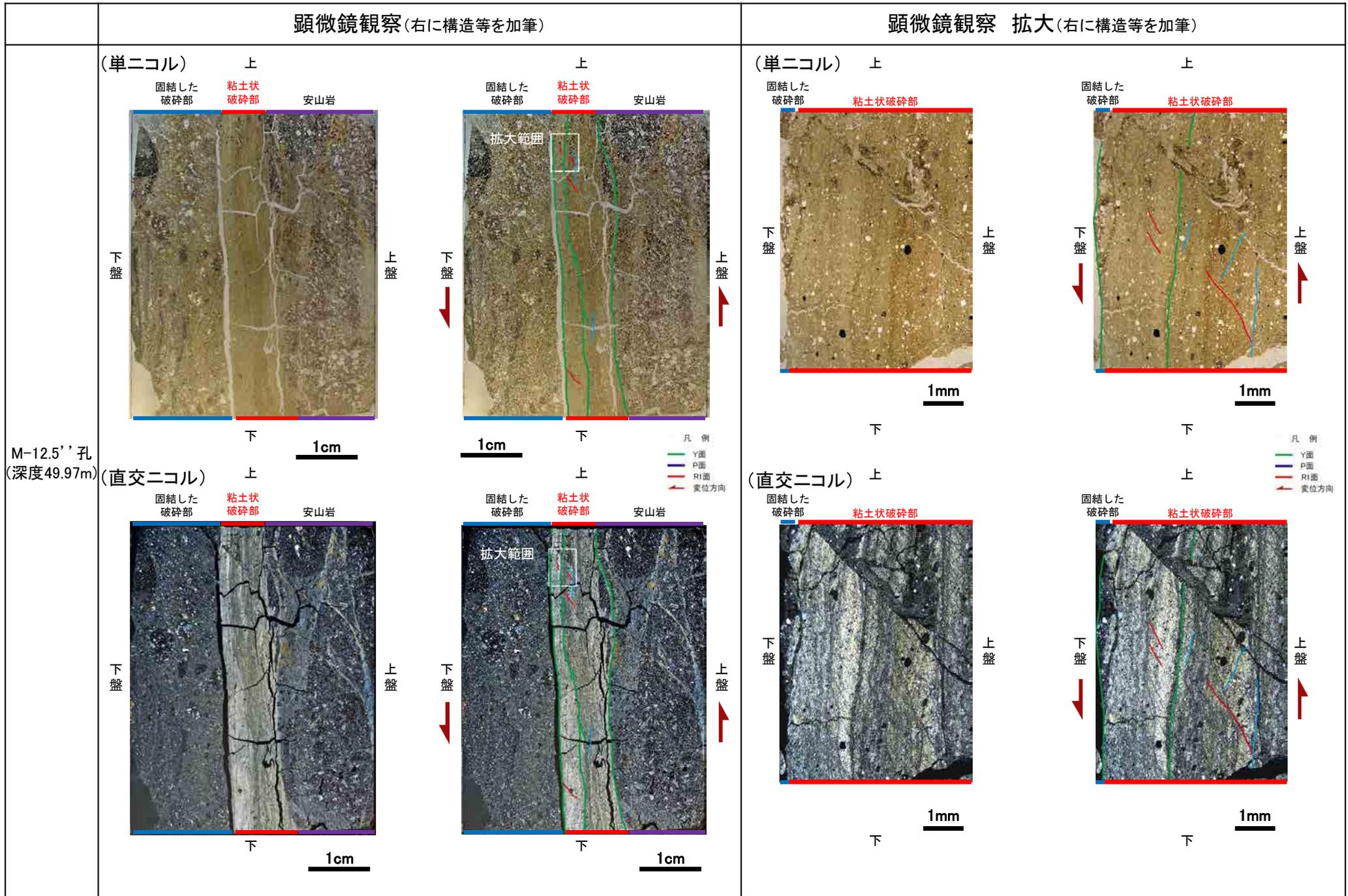
・粘土状破砕部中の変形構造から、見かけ上盤側上がりの逆断層センスが認定できる。

	顕微鏡観察(右に構造等を加筆)	顕微鏡観察 拡大(右に構造等を加筆)
岩盤調査坑 No.25-2 ブロック	<p>(単ニコル)</p>	<p>(単ニコル)</p>
	<p>(直交ニコル)</p>	<p>(直交ニコル)</p>

・粘土状破碎部中の変形構造から、見かけ上盤側上がりの逆断層センスが認定できる。

	顕微鏡観察 (右に構造等を加筆)		顕微鏡観察 拡大 (右に構造等を加筆)			
M-12.5' 孔 (深度51.70m)	(単ニコル)	<p>上</p> <p>安山岩 固結した 粘土状 固結した 破砕部 破砕部 破砕部</p>  <p>下盤 上盤</p> <p>1cm</p>	<p>上</p> <p>安山岩 固結した 粘土状 固結した 破砕部 破砕部 破砕部</p>  <p>拡大範囲</p> <p>下盤 上盤</p> <p>1cm</p>	(単ニコル)	<p>上</p> <p>粘土状破砕部</p>  <p>下盤 上盤</p> <p>1mm</p>	<p>上</p> <p>粘土状破砕部</p>  <p>下盤 上盤</p> <p>1mm</p>
	(直交ニコル)	<p>上</p> <p>安山岩 固結した 粘土状 固結した 破砕部 破砕部 破砕部</p>  <p>下盤 上盤</p> <p>1cm</p>	<p>上</p> <p>安山岩 固結した 粘土状 固結した 破砕部 破砕部 破砕部</p>  <p>拡大範囲</p> <p>下盤 上盤</p> <p>1cm</p>	(直交ニコル)	<p>上</p> <p>粘土状破砕部</p>  <p>下盤 上盤</p> <p>1mm</p>	<p>上</p> <p>粘土状破砕部</p>  <p>下盤 上盤</p> <p>1mm</p>
					凡例	
					<p>— Y面</p> <p>— P面</p> <p>— R1面</p> <p>— 変位方向</p>	

・粘土状破砕部中の変形構造から、見かけ上盤側上がりの逆断層センスが認定できる。

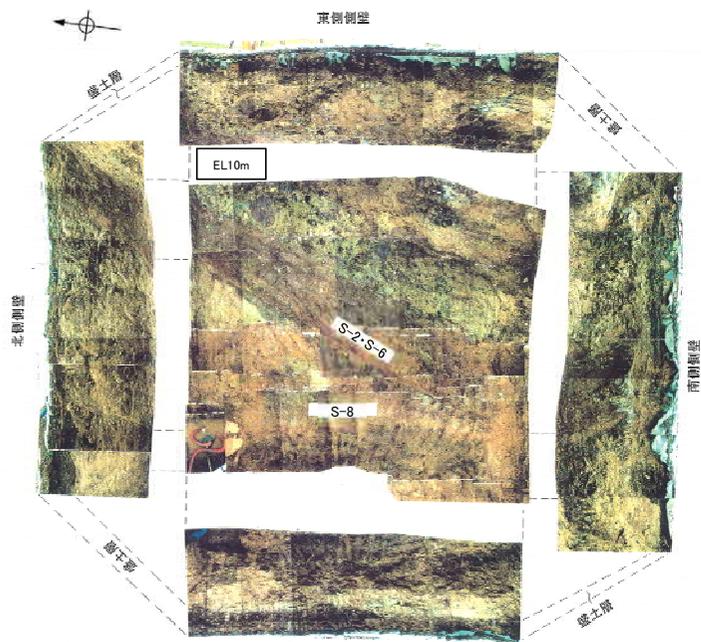


・粘土状破砕部中の変形構造から、見かけ上盤側上がりの逆断層センスが認定できる。

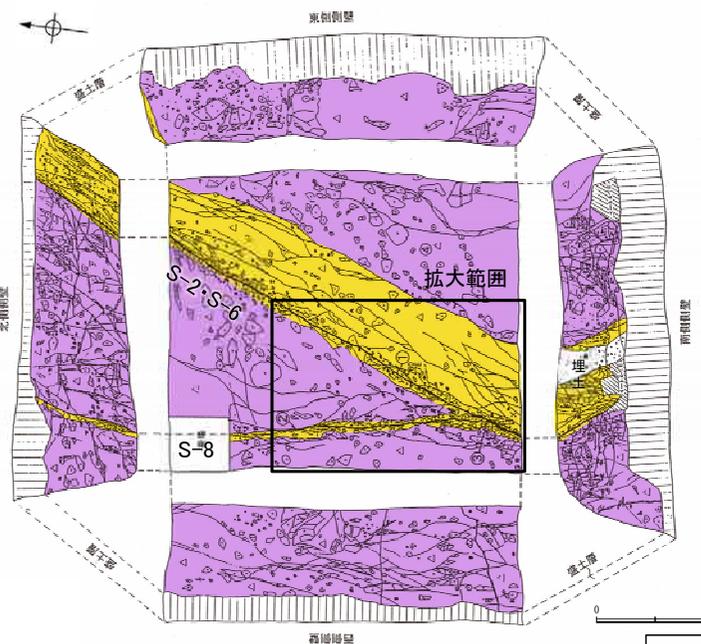
---

(3)-3 S-2・S-6の露頭観察結果(会合部)

# 露頭観察結果 (S-2・S-6とS-8の会合部トレンチ)



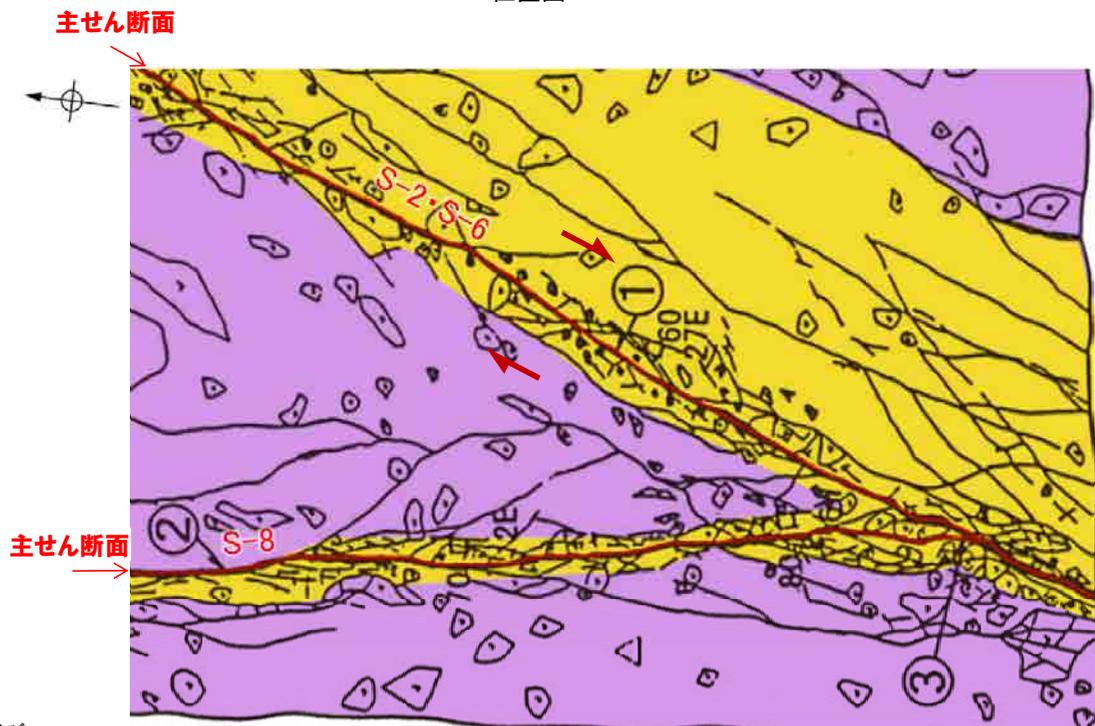
トレンチ写真 (展開図)



トレンチスケッチ (展開図)  
S-2・S-6とS-8の会合部の状況



位置図



トレンチスケッチ (展開図) 拡大図  
(原縮尺50分の1)

凡例

	破砕部*
	凝灰角礫岩
	安山岩礫
	節理
	シーム※1
	走向・傾斜

\* 破砕部の幅は写真及びスケッチから推定  
※1 スケッチ時の記載用語。「粘土状破砕部」に対応する。

・S-8の主せん断面は会合部付近で、引きずりの形状を示すことから、見かけ右横ずれセンスの動きが認定できる。  
・この動きの方向は、粘土状破砕部の条線観察で確認された左横ずれ逆断層センスと運動方向が異なることから、固結した破砕部が形成されたときの動きを表していると考えられる。

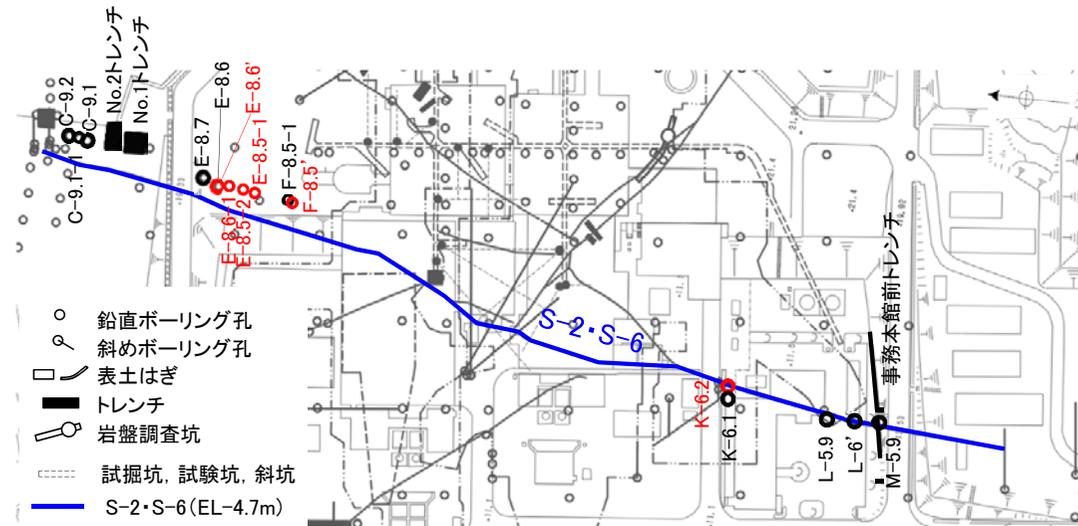
---

### (3)-4 S-2・S-6の薄片観察結果

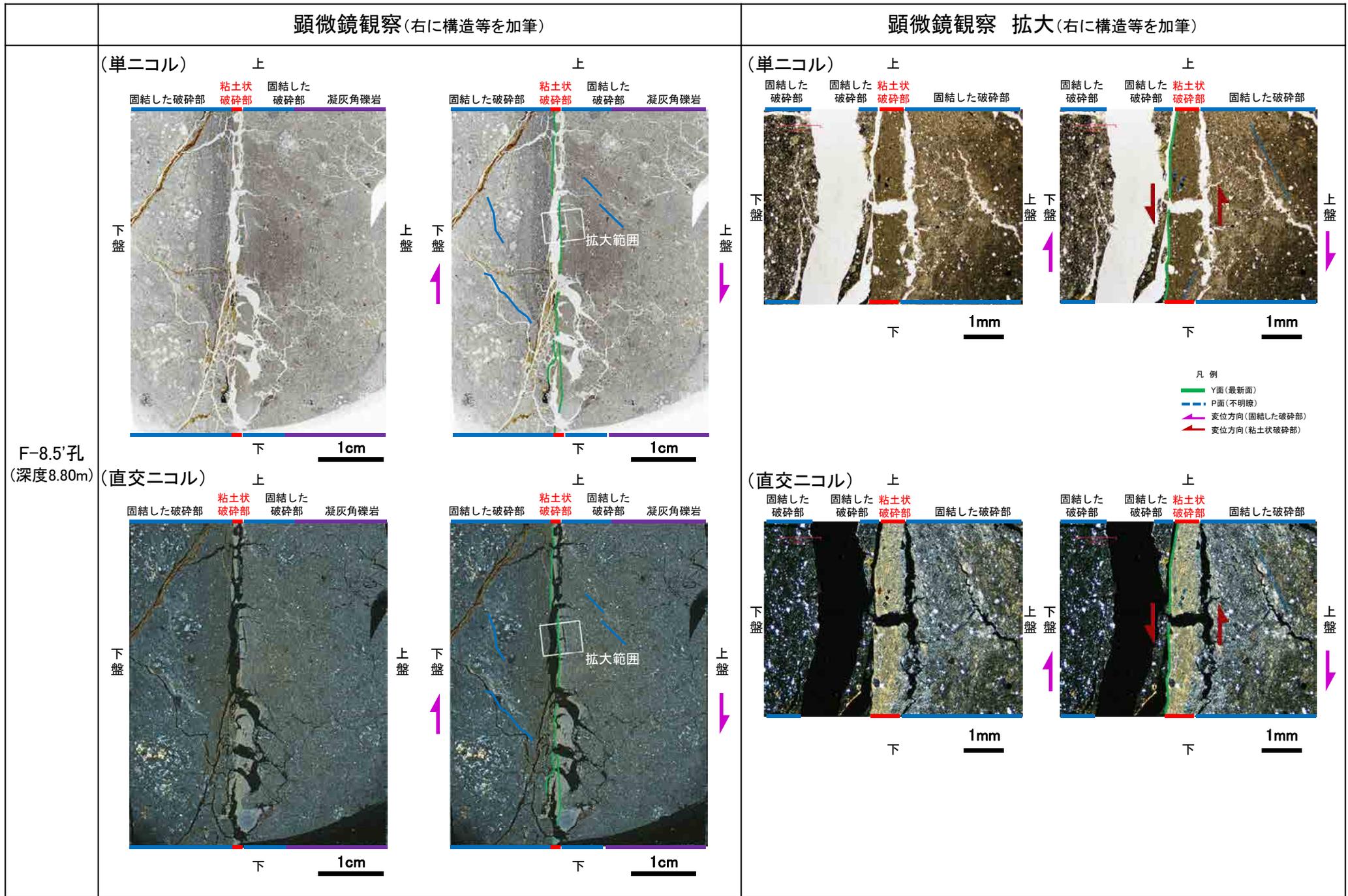
薄片観察結果(固結した破碎部)	
薄片番号	変位センス
F-8.5'_140R	正断層

薄片観察結果(粘土状破碎部)	
薄片番号	変位センス
K-6.2_100R	逆断層
F-8.5'_140R	逆断層
E-8.5-1_140R	逆断層
E-8.5-2_0R	逆断層
E-8.6-1_145R	逆断層
E-8.6'_100R	逆断層

\* 各薄片試料は、付近の断層の条線観察結果を踏まえたレイクで切断し、作成した。



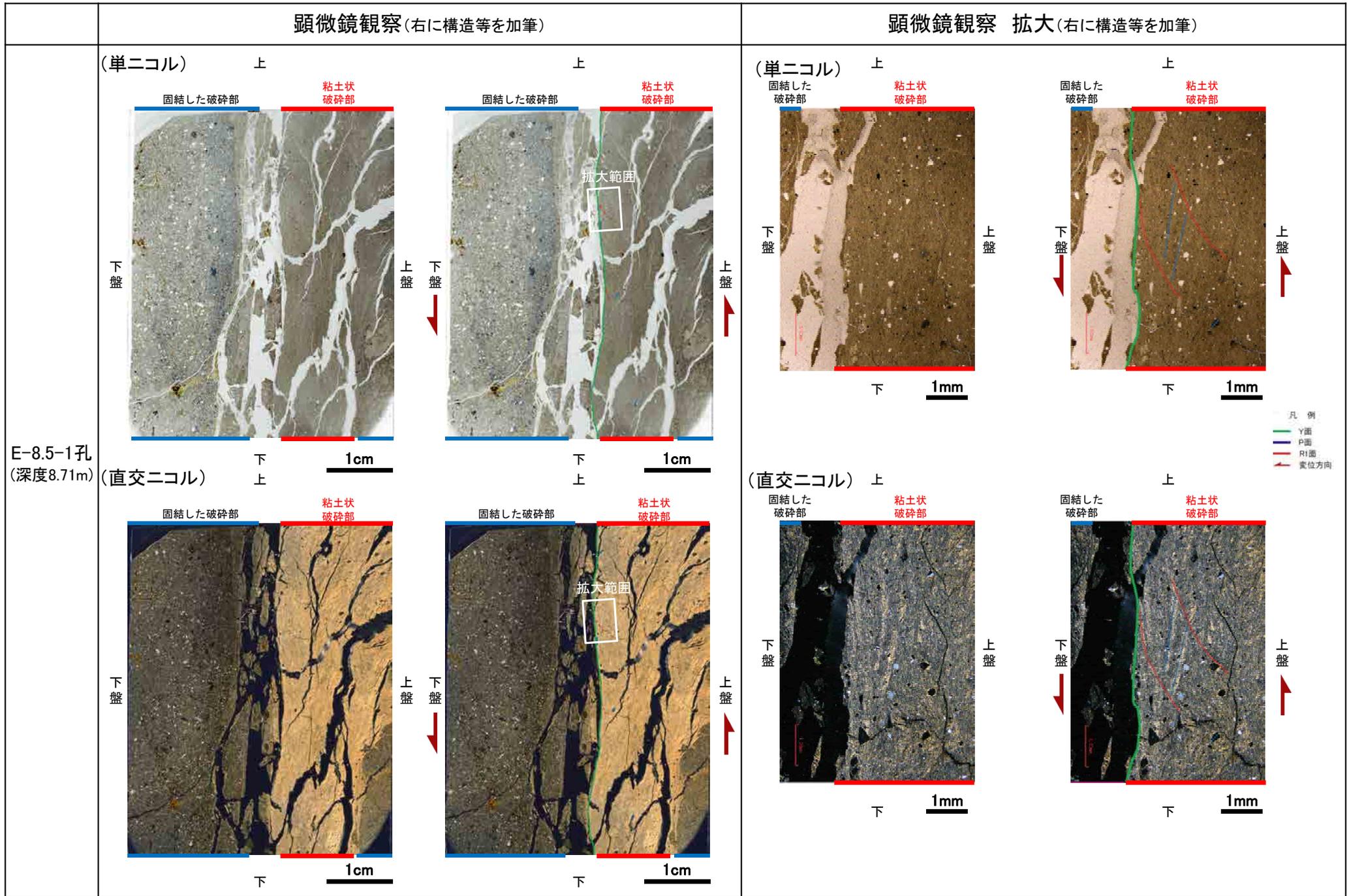
赤字: 薄片観察箇所



- ・ 固結した破砕部中の変形構造から、見かけ上盤側下がりの正断層センスが認定できる。
- ・ 粘土状破砕部中の変形構造から、見かけ上盤側上がりの逆断層センスが認定できる。

	顕微鏡観察 (右に構造等を加筆)	顕微鏡観察 拡大 (右に構造等を加筆)
K-6.2孔 (深度24.17m)	<p>(単ニコル)</p>	<p>(単ニコル)</p>
	<p>(直交ニコル)</p>	<p>(直交ニコル)</p>
	<p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>— Y面</li> <li>— P面</li> <li>— R1面</li> <li>— 変位方向</li> </ul>	

・粘土状破砕部中の変形構造から、見かけ上盤側上がりの逆断層センスが認定できる。



・粘土状破砕部中の変形構造から、見かけ上盤側上がりの逆断層センスが認定できる。

	顕微鏡観察 (右に構造等を加筆)		顕微鏡観察 拡大 (右に構造等を加筆)			
E-8.5-2孔 (深度8.55m)	(単ニコル)	<p>南</p> <p>固結した破砕部 粘土状破砕部 固結した破砕部</p> <p>北 1cm</p>	<p>南</p> <p>固結した破砕部 粘土状破砕部 固結した破砕部</p> <p>拡大範囲</p> <p>北 1cm</p>	(単ニコル)	<p>南</p> <p>固結した破砕部 粘土状破砕部 固結した破砕部</p> <p>北 1mm</p>	<p>南</p> <p>固結した破砕部 粘土状破砕部 固結した破砕部</p> <p>北 1mm</p> <p>凡例 Y面 R1面 (不明確) 変位方向</p>
	(直交ニコル)	<p>南</p> <p>固結した破砕部 粘土状破砕部 固結した破砕部</p> <p>北 1cm</p>	<p>南</p> <p>固結した破砕部 粘土状破砕部 固結した破砕部</p> <p>拡大範囲</p> <p>北 1cm</p>	(直交ニコル)	<p>南</p> <p>固結した破砕部 粘土状破砕部 固結した破砕部</p> <p>北 1mm</p>	<p>南</p> <p>固結した破砕部 粘土状破砕部 固結した破砕部</p> <p>北 1mm</p>

・粘土状破砕部中の変形構造から、見かけ上盤側上がりの逆断層センスが認定できる。

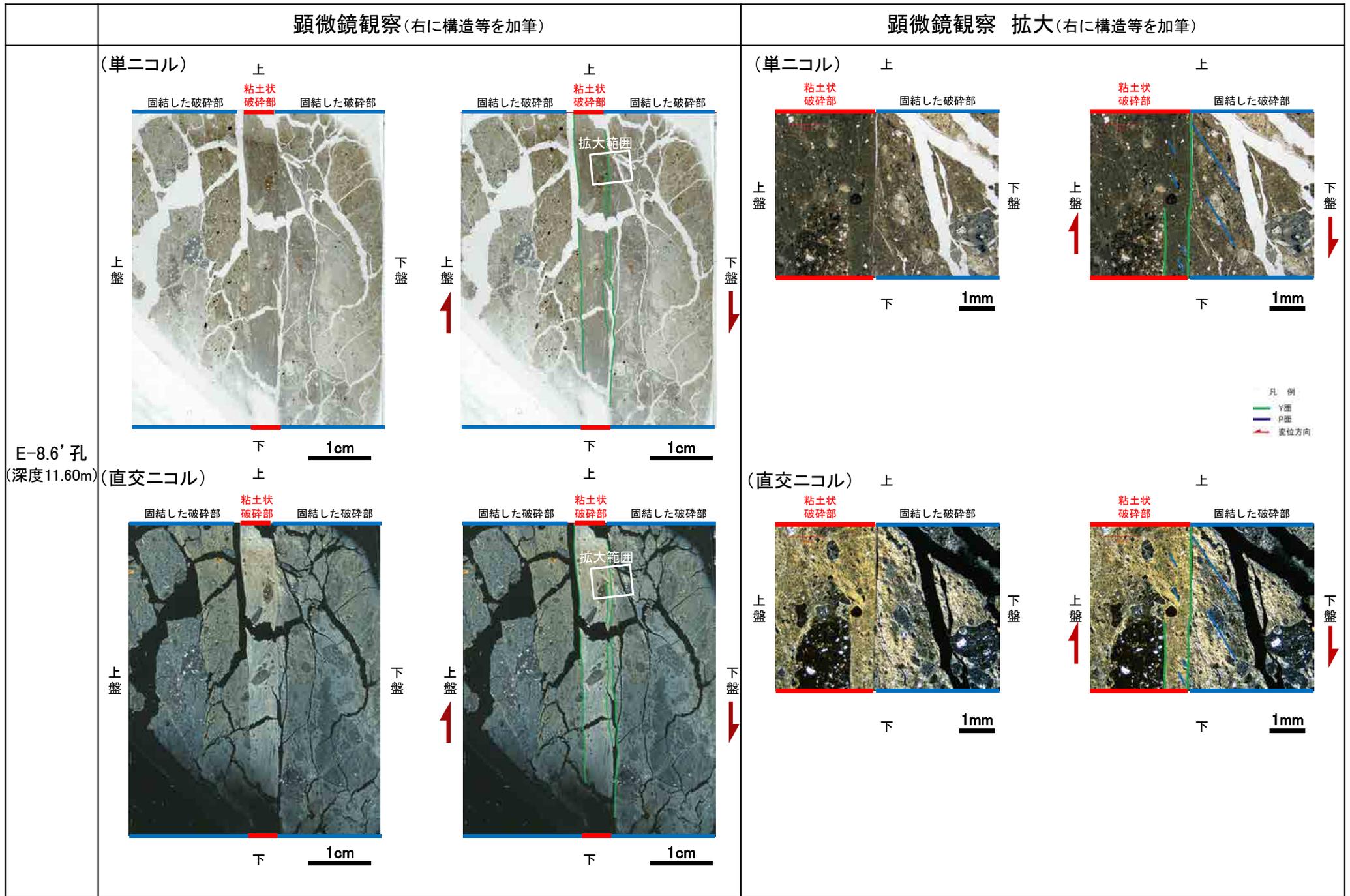
	顕微鏡観察 (右に構造等を加筆)		顕微鏡観察 拡大 (右に構造等を加筆)			
E-8.6-1孔 (深度8.00m)	(単ニコル)	<p>上</p> <p>下盤</p> <p>上盤</p> <p>下 1cm</p>	<p>上</p> <p>下盤</p> <p>上盤</p> <p>下 1cm</p>	(単ニコル)	<p>上</p> <p>下盤</p> <p>上盤</p> <p>下 1mm</p>	<p>上</p> <p>下盤</p> <p>上盤</p> <p>下 1mm</p>
	(直交ニコル)	<p>上</p> <p>下盤</p> <p>上盤</p> <p>下 1cm</p>	<p>上</p> <p>下盤</p> <p>上盤</p> <p>下 1cm</p>	(直交ニコル)	<p>上</p> <p>下盤</p> <p>上盤</p> <p>下 1mm</p>	<p>上</p> <p>下盤</p> <p>上盤</p> <p>下 1mm</p>
					<p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>— Y面</li> <li>— P面</li> <li>— R1面</li> <li>— 実位方向</li> </ul>	

・粘土状破砕部中の変形構造から、見かけ上盤側上がりの逆断層センスが認定できる。

# 薄片観察結果 (E-8.6' \_100R)

■ 条線観察結果を踏まえ、100° Rのレイクでボーリングコアを切断して作成した薄片を観察した。

第553回審査会合  
机上配布資料1 P.10-44 一部修正



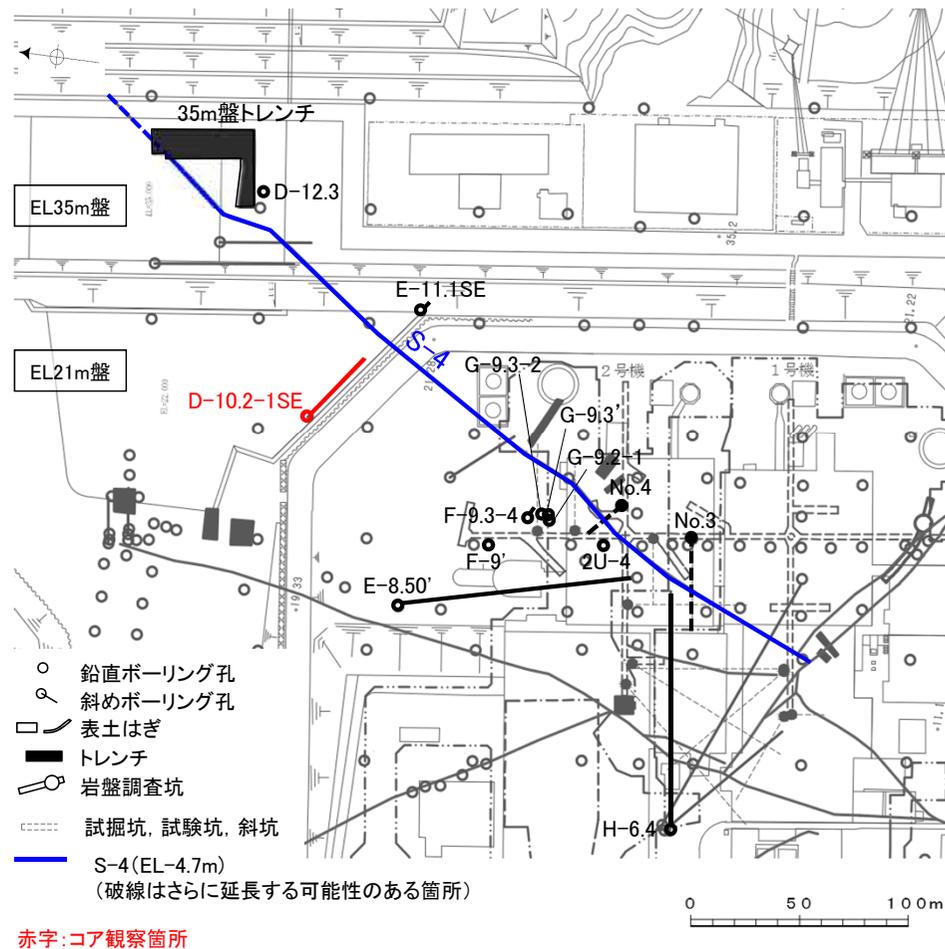
・粘土状破砕部中の変形構造から、見かけ上盤側上がりの逆断層センスが認定できる。

---

## (3)-5 S-4のコア観察結果

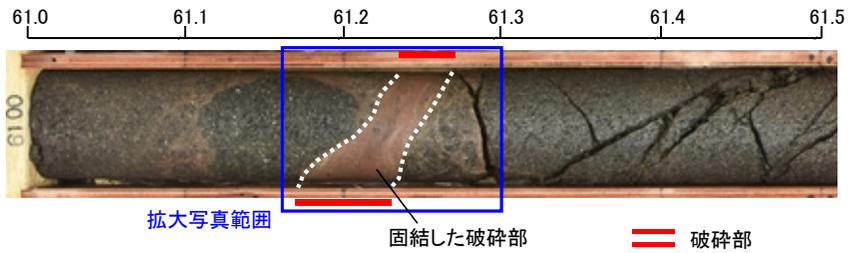
# S-4のコア観察結果

コア観察結果(固結した破砕部)	
ボーリング孔名	変位センス
D-10.2-1SE孔	正断層



位置図

# コア観察結果(ボーリングD-10.2-1SE孔)



D-10.2-1SE孔(傾斜角60°)  
コア写真(深度61.0~61.5m)

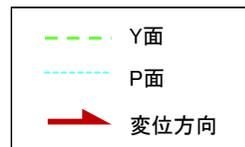
ボーリング  
孔口側  
(上盤)



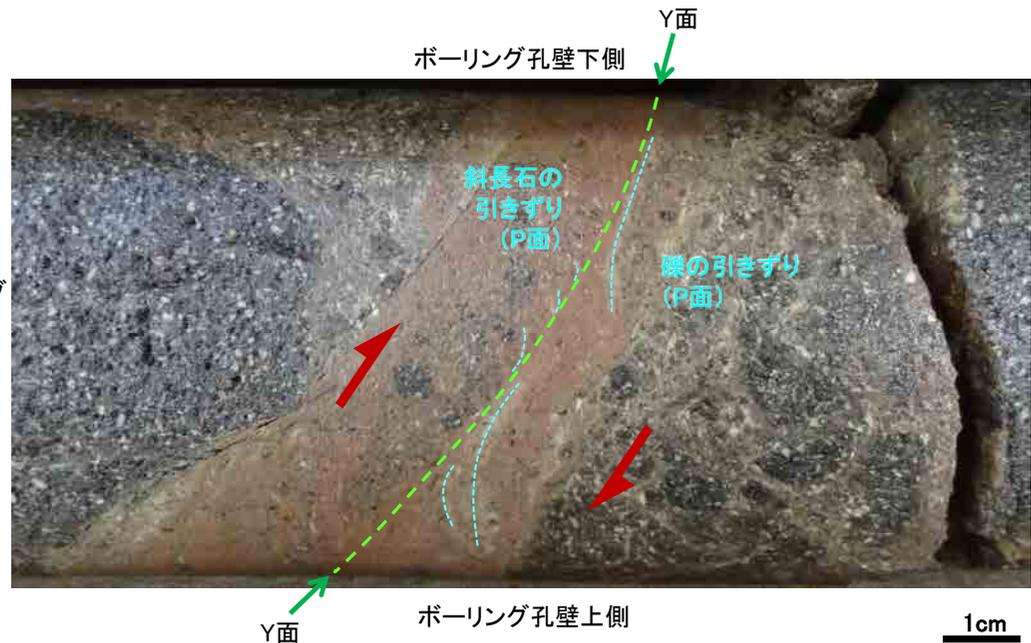
ボーリング  
孔底側  
(下盤)

ボーリング孔壁上側

1cm



ボーリング  
孔口側  
(上盤)



ボーリング  
孔底側  
(下盤)

ボーリング孔壁上側

1cm

・固結した破碎部中の変形構造から、見かけ上盤側下がりの正断層センスが認定できる。

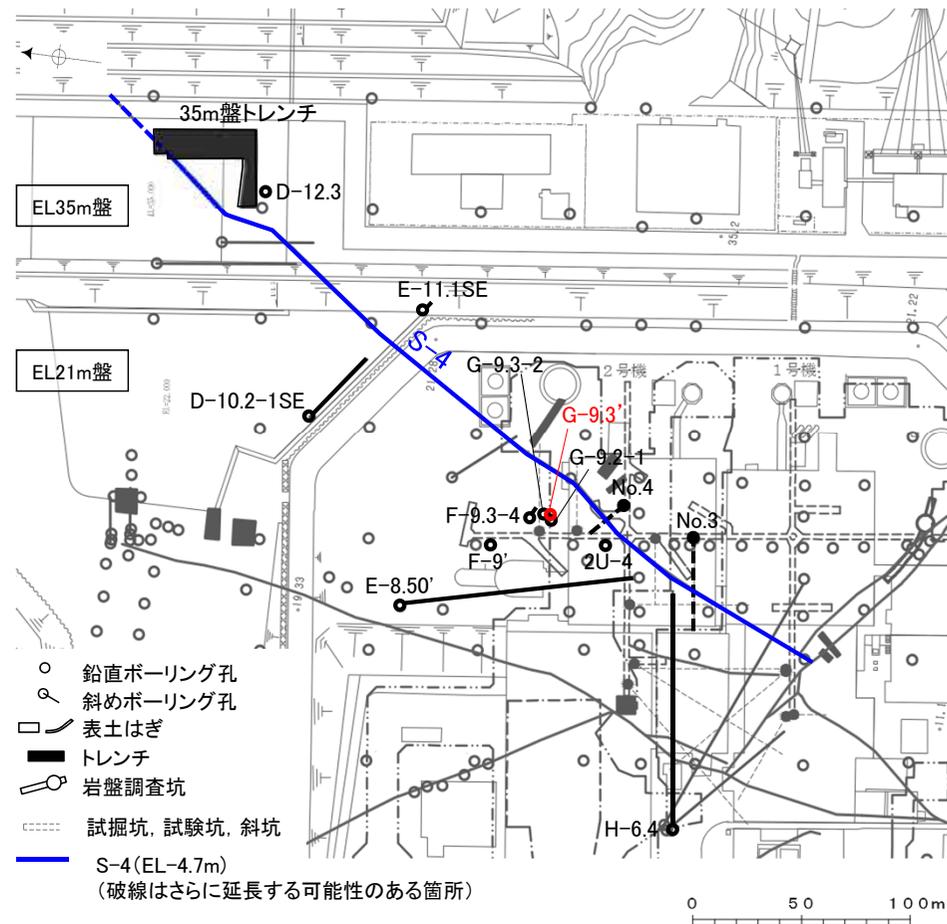
拡大写真(下は構造等を加筆)

---

## (3)-6 S-4の薄片観察結果

薄片観察結果(粘土状破砕部)	
薄片番号	変位センス
G-9.3'_130R	逆断層

\* 各薄片試料は、付近の断層の条線観察結果を踏まえたレイクで切断し、作成した。



赤字: 薄片観察箇所

位置図

# 薄片観察結果 (G-9.3' \_130R)

■ 条線観察結果を踏まえ、130° Rのレイクでボーリングコアを切断して作成した薄片を観察した。

第597回審査会合  
資料2-2 P.5-16 一部修正

	顕微鏡観察 (右に構造等を加筆)		顕微鏡観察 拡大 (右に構造等を加筆)			
G-9.3' 孔 (深度62.19m)	(単ニコル)	<p>上</p> <p>固結した 粘土状 破砕部 破砕部 固結した破砕部</p> <p>上盤 下盤</p> <p>1cm</p>	<p>上</p> <p>固結した 粘土状 破砕部 破砕部 固結した破砕部</p> <p>拡大範囲</p> <p>上盤 下盤</p> <p>1cm</p>	(単ニコル)	<p>上</p> <p>粘土状破砕部 固結した破砕部</p> <p>上盤 下盤</p> <p>1mm</p>	<p>上</p> <p>粘土状破砕部 固結した破砕部</p> <p>上盤 下盤</p> <p>1mm</p>
	(直交ニコル)	<p>上</p> <p>固結した 粘土状 破砕部 破砕部 固結した破砕部</p> <p>上盤 下盤</p> <p>1cm</p>	<p>上</p> <p>固結した 粘土状 破砕部 破砕部 固結した破砕部</p> <p>拡大範囲</p> <p>上盤 下盤</p> <p>1cm</p>	(直交ニコル)	<p>上</p> <p>粘土状破砕部 固結した破砕部</p> <p>上盤 下盤</p> <p>1mm</p>	<p>上</p> <p>粘土状破砕部 固結した破砕部</p> <p>上盤 下盤</p> <p>1mm</p>
					<p>凡例</p> <p>— Y面</p> <p>— R1面</p> <p>— 変位方向</p>	

・粘土状破砕部中の変形構造から、見かけ上盤側上がりの逆断層センスが認定できる。

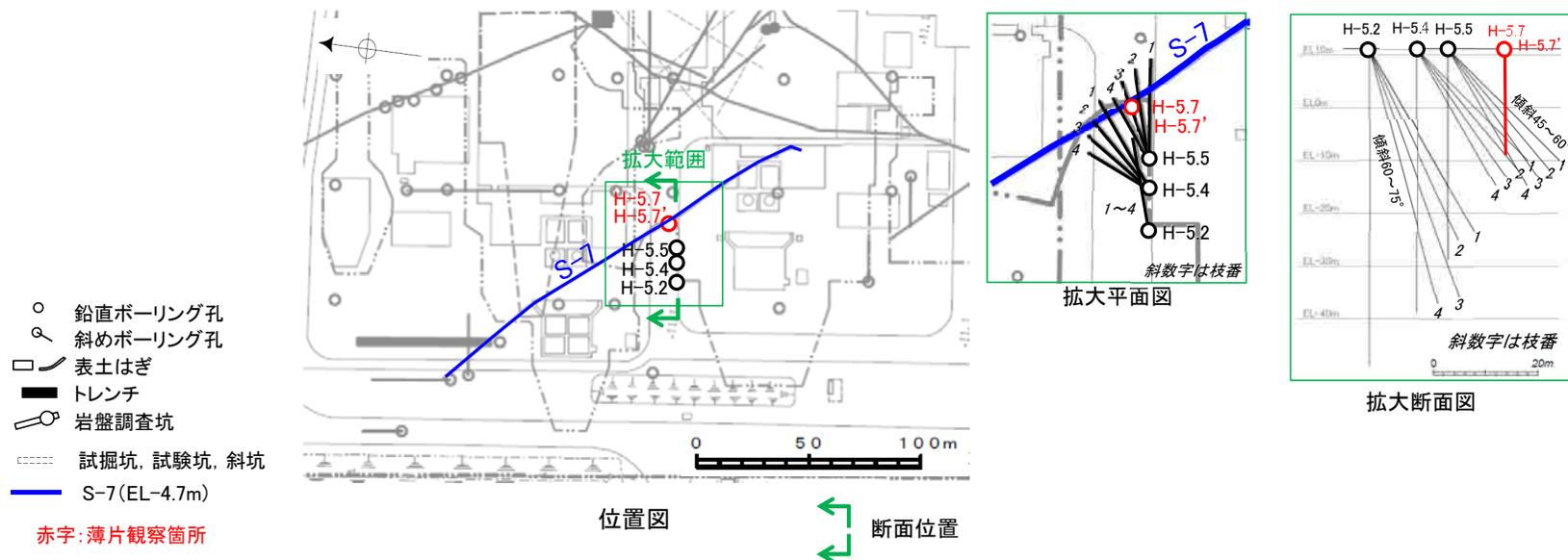
---

## (3)-7 S-7の薄片観察結果

# S-7の薄片観察結果

薄片観察結果(固結した破碎部, 粘土状破碎部)	
薄片番号	変位センス
H-5.7_20R	不明
H-5.7'_20R	不明

\* 各薄片試料は, 付近の断層の条線観察結果を踏まえたレイクで切断し, 作成した。



# 薄片観察結果(H-5.7\_20R)

■ 条線観察結果を踏まえ、20° Rのレイクでポーリングコアを切断して作成した薄片を観察した。

第627回審査会合  
資料2-1 P.120 一部修正

	顕微鏡観察(右に構造等を加筆)		顕微鏡観察 拡大(右に構造等を加筆)			
H-5.7孔 (深度13.20m)	(単ニコル)			(単ニコル)		
	(直交ニコル)			(直交ニコル)		
						凡例 — 例 — Y面

・固結した破砕部、粘土状破砕部中には変位センスが認定できるような明瞭な変形構造は認められない。

# 薄片観察結果(H-5.7'\_20R)

■ 条線観察結果を踏まえ、20° Rのレイクでボーリングコアを切断して作成した薄片を観察した。

第627回審査会合  
資料2-1 P.121 一部修正

	顕微鏡観察(右に構造等を加筆)		顕微鏡観察 拡大(右に構造等を加筆)			
H-5.7'孔 (深度14.32m)	(単ニコル)			(単ニコル)		
	(直交ニコル)			(直交ニコル)		
						<p>凡例</p> <p>— Ⅱ面</p>

・固結した破砕部、粘土状破砕部中には変位センスが認定できるような明瞭な変形構造は認められない。

---

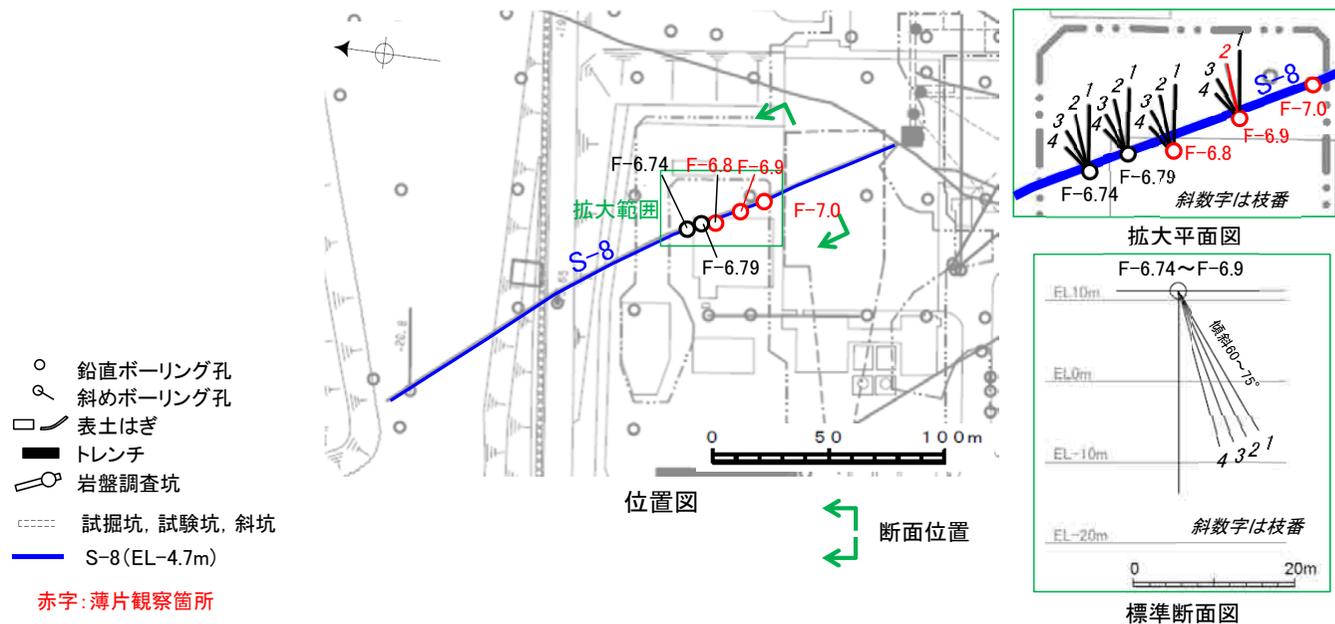
## (3)-8 S-8の薄片観察結果

# S-8の薄片観察結果

薄片観察結果(固結した破砕部)	
薄片番号	変位センス
F-6.9-2_145R	正断層

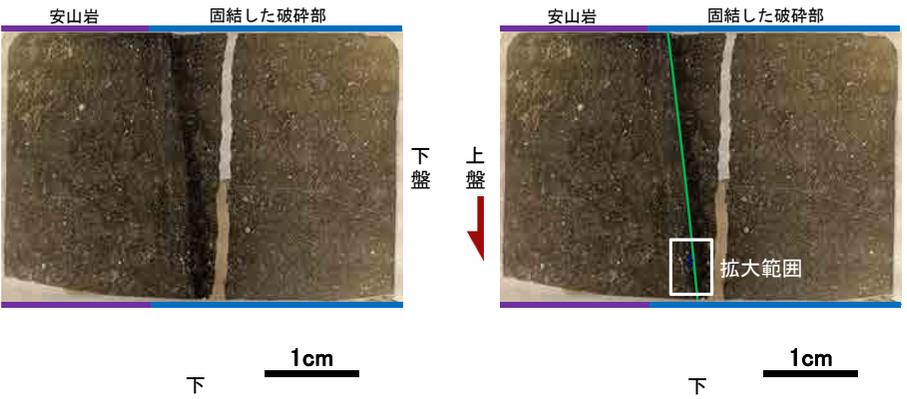
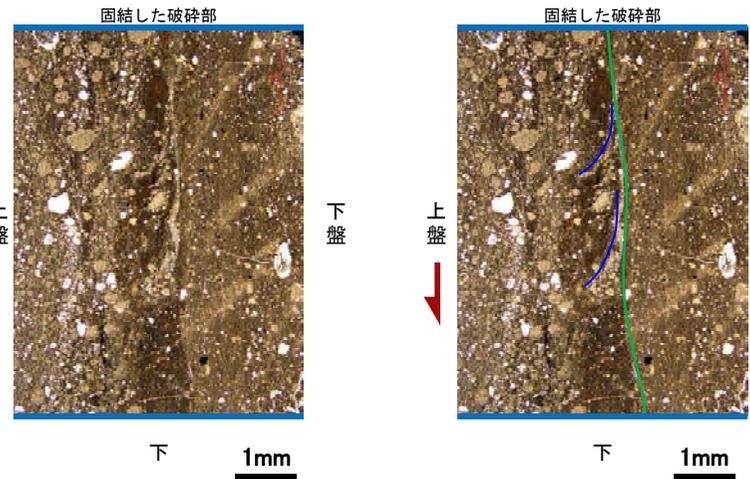
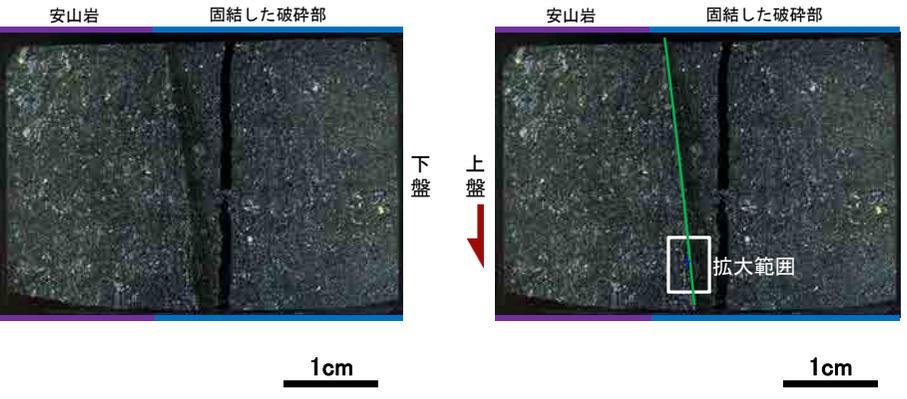
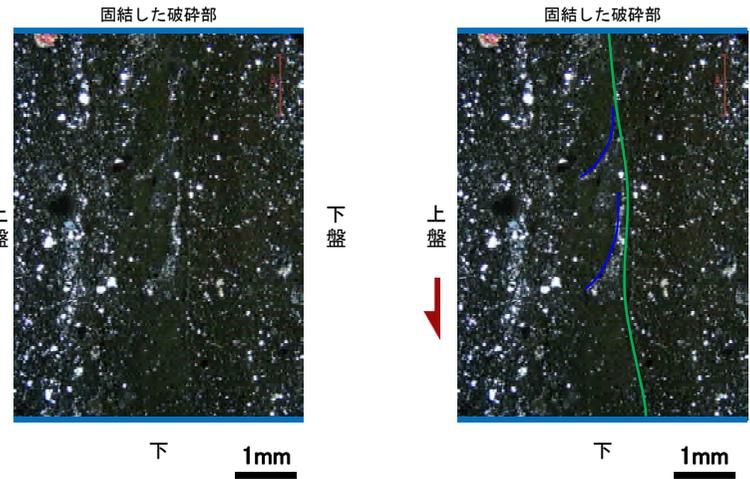
薄片観察結果(固結した破砕部, 粘土状破砕部)	
薄片番号	変位センス
F-6.8_70R	不明
F-7.0_70R	不明

\* 各薄片試料は、付近の断層の条線観察結果を踏まえたレイクで切断し、作成した。



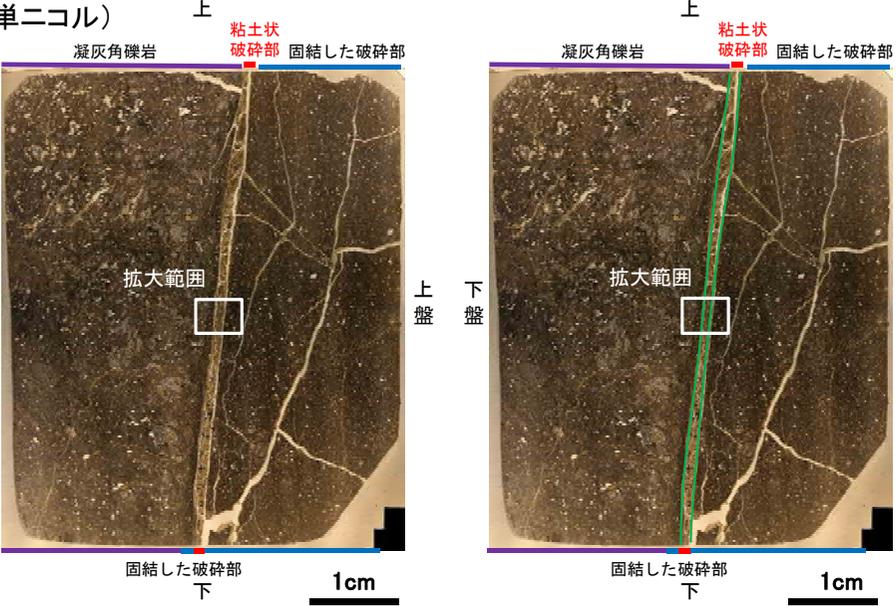
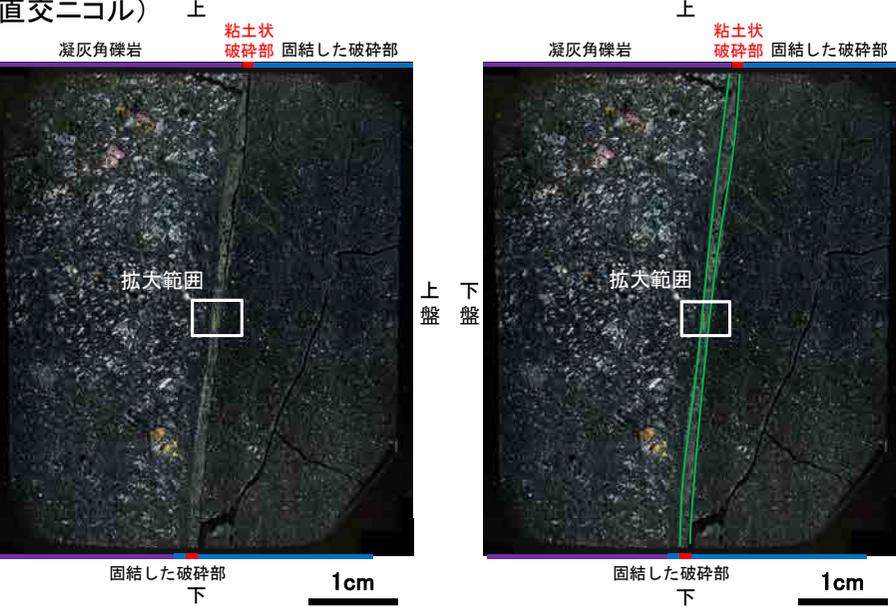
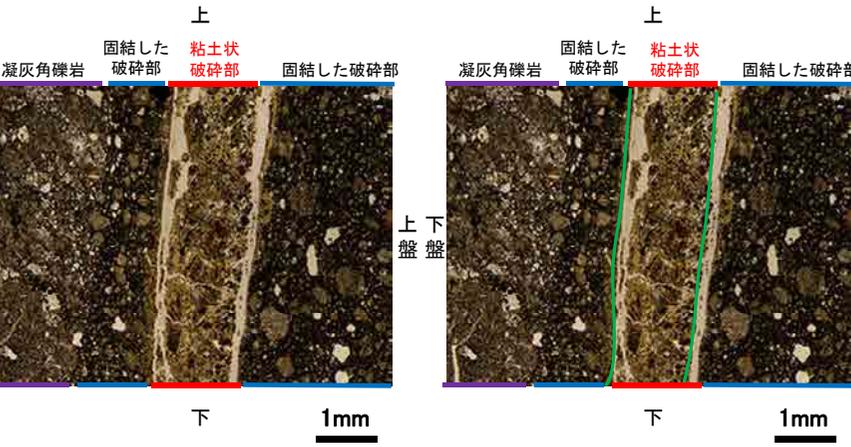
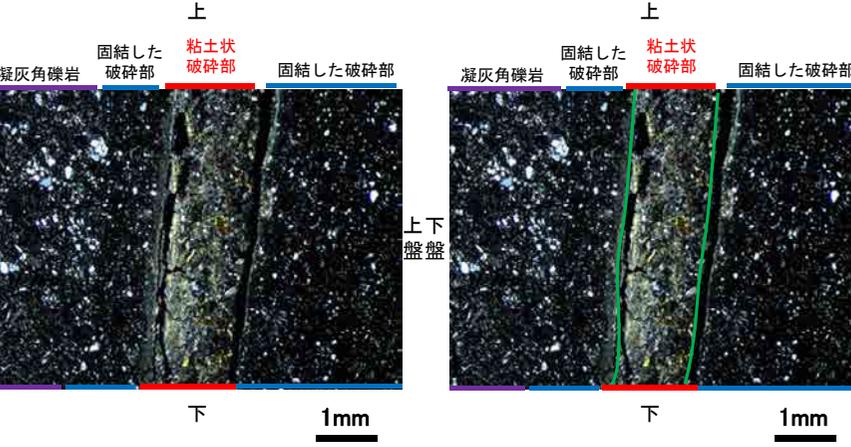
# 薄片観察結果 (F-6.9-2\_145R)

■ 糸線観察結果を踏まえ、145° Rのレイクでボーリングコアを切断して作成した薄片を観察した。

	顕微鏡観察 (右に構造等を加筆)	顕微鏡観察 拡大 (右に構造等を加筆)
F-6.9-2孔 (深度13.30m)	<p>(単ニコル) 上</p>  <p>1cm</p>	<p>(単ニコル) 上</p>  <p>1mm</p>
	<p>(直交ニコル) 上</p>  <p>1cm</p>	<p>(直交ニコル) 上</p>  <p>1mm</p>

凡例  
 緑線 Y面  
 青線 P面  
 赤線 変位方向

・固結した破砕部中の変形構造から、見かけ上盤側下がりの正断層センスが認定できる。

	顕微鏡観察 (右に構造等を加筆)	顕微鏡観察 拡大 (右に構造等を加筆)
<p>F-6.8孔 (深度23.75m)</p>	<p>顕微鏡観察 (右に構造等を加筆)</p> <p>(単ニコル) 上 凝灰角礫岩 粘土状破砕部 固結した破砕部</p>  <p>下盤 拡大範囲 上盤 下盤</p> <p>(直交ニコル) 上 凝灰角礫岩 粘土状破砕部 固結した破砕部</p>  <p>下盤 拡大範囲 上盤 下盤</p>	<p>顕微鏡観察 拡大 (右に構造等を加筆)</p> <p>(単ニコル) 上 凝灰角礫岩 固結した破砕部 粘土状破砕部 固結した破砕部</p>  <p>下盤 上盤 下盤 上盤</p> <p>1mm</p> <p>(直交ニコル) 上 凝灰角礫岩 固結した破砕部 粘土状破砕部 固結した破砕部</p>  <p>下盤 上盤 下盤 上盤</p> <p>1mm</p> <p>凡例 — Y面</p>

・固結した破砕部, 粘土状破砕部中には変位センスが認定できるような明瞭な変形構造は認められない。

	顕微鏡観察 (右に構造等を加筆)	顕微鏡観察 拡大 (右に構造等を加筆)
F-7.0孔 (深度16.09m)	(単ニコル)	(単ニコル)
	(直交ニコル)	(直交ニコル)
		<p>凡例</p> <p>— Y面</p>

・固結した破砕部、粘土状破砕部中には変位センスが認定できるような明瞭な変形構造は認められない。

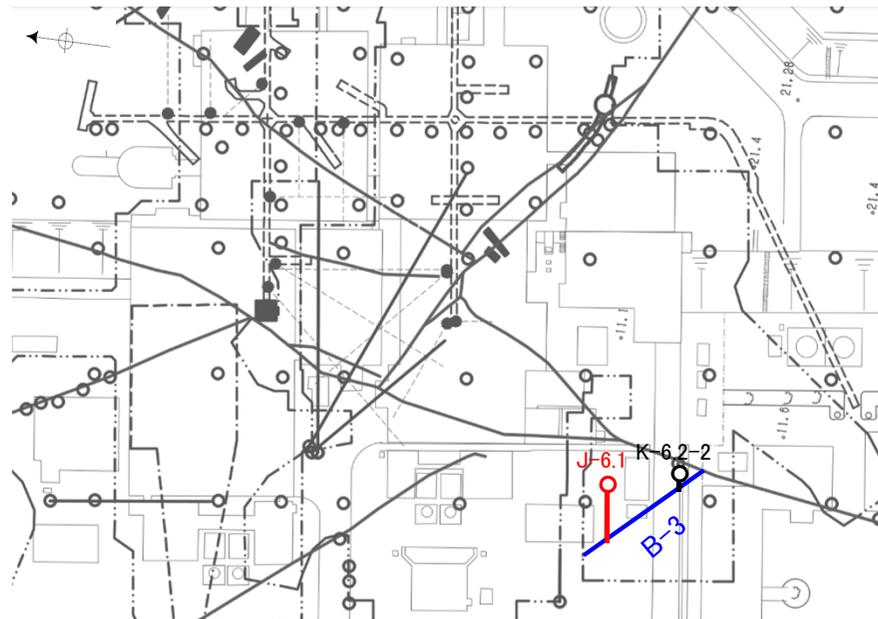
---

## (3)-9 B-3の薄片観察結果

# B-3の薄片観察結果

薄片観察結果(固結した破碎部)		薄片観察結果(粘土状破碎部)	
薄片番号	変位センス	薄片番号	変位センス
J-6.1_70R	正断層	J-6.1_70R	不明

\* 各薄片試料は、付近の断層の条線観察結果を踏まえたレイクで切断し、作成した。



- 鉛直ボーリング孔
- 斜めボーリング孔
- 水平ボーリング孔
- 表土はぎ
- トレンチ
- 岩盤調査坑
- ⋯ 試掘坑, 試験坑, 斜坑
- B-3(EL-4.7m)
- 赤字: 薄片観察箇所

位置図

# 薄片観察結果 (J-6.1\_70R)

■ 条線観察結果を踏まえ、70° Rのレイクでボーリングコアを切断して作成した薄片を観察した。

	顕微鏡観察 (右に構造等を加筆)		顕微鏡観察 拡大 (右に構造等を加筆)				
J-6.1孔 (深度27.9m)	(単ニコル)	<p>上</p> <p>固結した破砕部      粘土状破砕部</p> <p>下盤      上盤</p> <p>下      1cm</p>	<p>上</p> <p>固結した破砕部      粘土状破砕部</p> <p>拡大範囲</p> <p>下盤      上盤</p> <p>下      1cm</p>	(単ニコル)	<p>上</p> <p>固結した破砕部      粘土状破砕部</p> <p>下盤      上盤</p> <p>下      1mm</p>	(単ニコル)	<p>上</p> <p>固結した破砕部      粘土状破砕部</p> <p>下盤      上盤</p> <p>下      1mm</p>
	(直交ニコル)	<p>上</p> <p>固結した破砕部      粘土状破砕部</p> <p>下盤      上盤</p> <p>下      1cm</p>	<p>上</p> <p>固結した破砕部      粘土状破砕部</p> <p>拡大範囲</p> <p>下盤      上盤</p> <p>下      1cm</p>	(直交ニコル)	<p>上</p> <p>固結した破砕部      粘土状破砕部</p> <p>下盤      上盤</p> <p>下      1mm</p>	(直交ニコル)	<p>上</p> <p>固結した破砕部      粘土状破砕部</p> <p>下盤      上盤</p> <p>下      1mm</p>
			<p>凡例</p> <p>— Y面</p> <p>— R1面</p> <p>— 変位方向</p>				
			<p>上</p> <p>下盤</p> <p>上盤</p> <p>下</p>				

- ・固結した破砕部中の変形構造から、見かけ上盤側下がりの正断層センスが認定できる。
- ・粘土状破砕部中には変位センスが認定できるような明瞭な変形構造は認められない。

# 薄片観察結果 (J-6.1\_70R)

■ 条線観察結果を踏まえ、70° Rのレイクでボーリングコアを切断して作成した薄片を観察した。

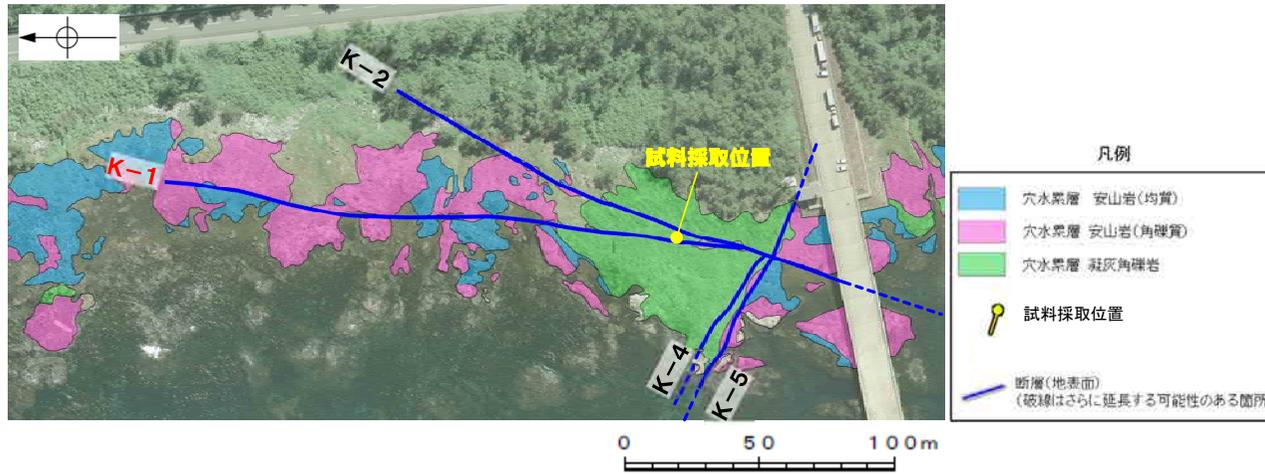
	顕微鏡観察 (右に構造等を加筆)		顕微鏡観察 拡大 (右に構造等を加筆)			
J-6.1孔 (深度27.9m)	(単ニコル)	<p>上</p> <p>固結した破砕部 粘土状破砕部</p> <p>下盤 上盤</p> <p>下 1cm</p>	<p>上</p> <p>固結した破砕部 粘土状破砕部</p> <p>下盤 上盤</p> <p>下 1cm</p> <p>拡大範囲</p>	(単ニコル)	<p>上</p> <p>固結した破砕部</p> <p>下盤 上盤</p> <p>下 1mm</p>	<p>上</p> <p>固結した破砕部</p> <p>下盤 上盤</p> <p>下 1mm</p>
	(直交ニコル)	<p>上</p> <p>固結した破砕部 粘土状破砕部</p> <p>下盤 上盤</p> <p>下 1cm</p>	<p>上</p> <p>固結した破砕部 粘土状破砕部</p> <p>下盤 上盤</p> <p>下 1cm</p> <p>拡大範囲</p>	(直交ニコル)	<p>上</p> <p>固結した破砕部</p> <p>下盤 上盤</p> <p>下 1mm</p>	<p>上</p> <p>固結した破砕部</p> <p>下盤 上盤</p> <p>下 1mm</p>
					<p>凡例</p> <p>— Y面</p> <p>— P面</p> <p>↔ 変位方向</p>	

- ・固結した破砕部中の変形構造から、見かけ上盤側下がりの正断層センスが認定できる。
- ・粘土状破砕部中には変位センスが認定できるような明瞭な変形構造は認められない。

---

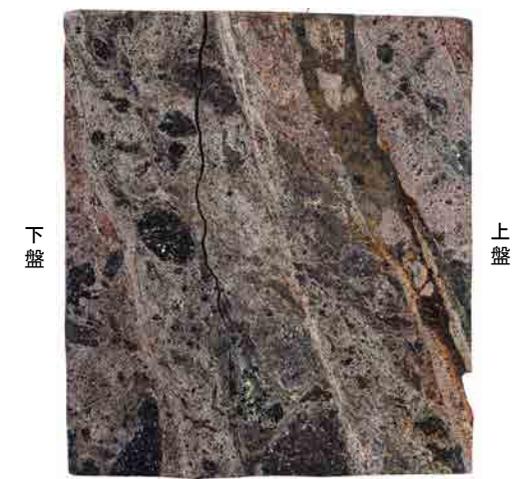
## (3)-10 K-1～K-4の研磨片観察結果

# 研磨片観察結果(K-1)



調査位置図

←W 上 E→



←N S→



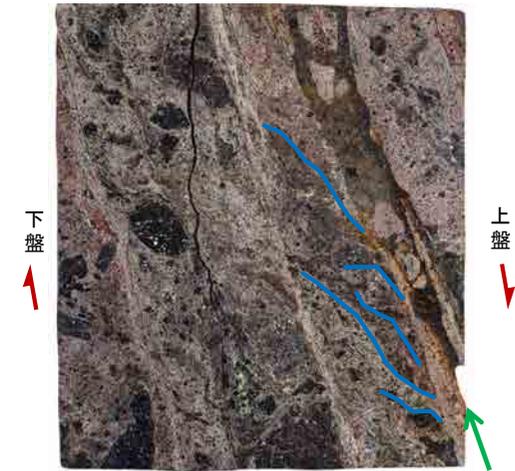
固結した破碎部

試料採取位置

下 0 50mm

主せん断面

←W 上 E→

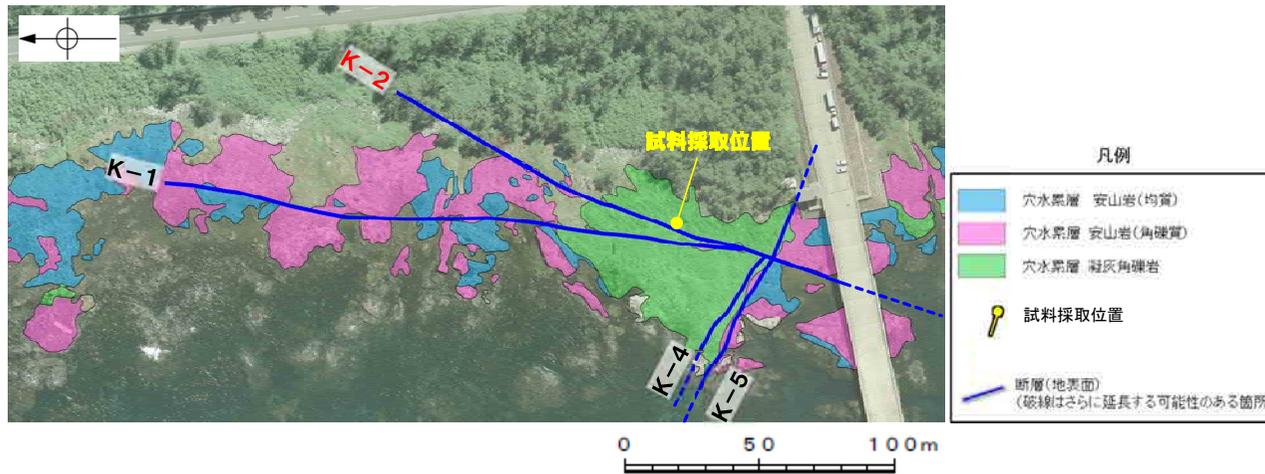


凡例

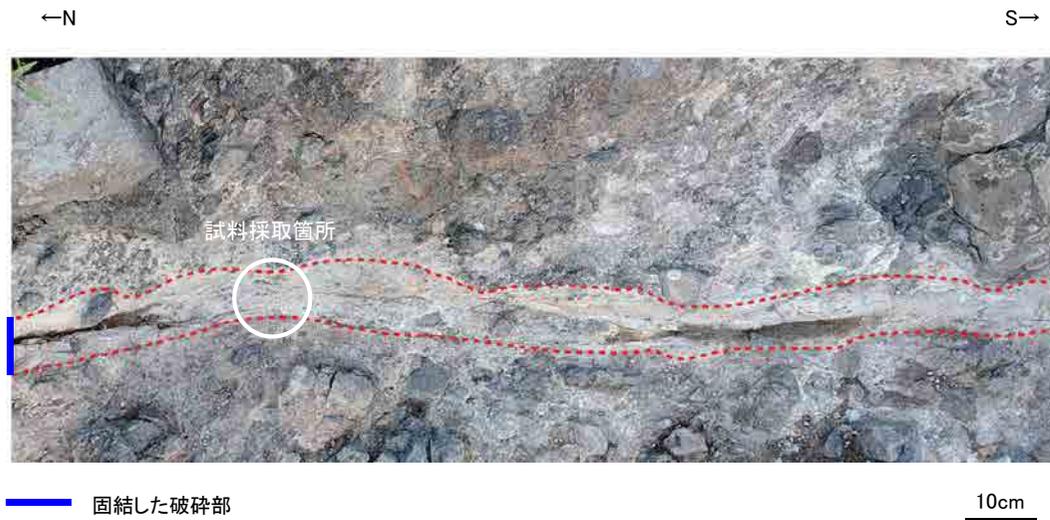
- P面
- 変位方向

研磨片写真(下は変形構造を加筆)

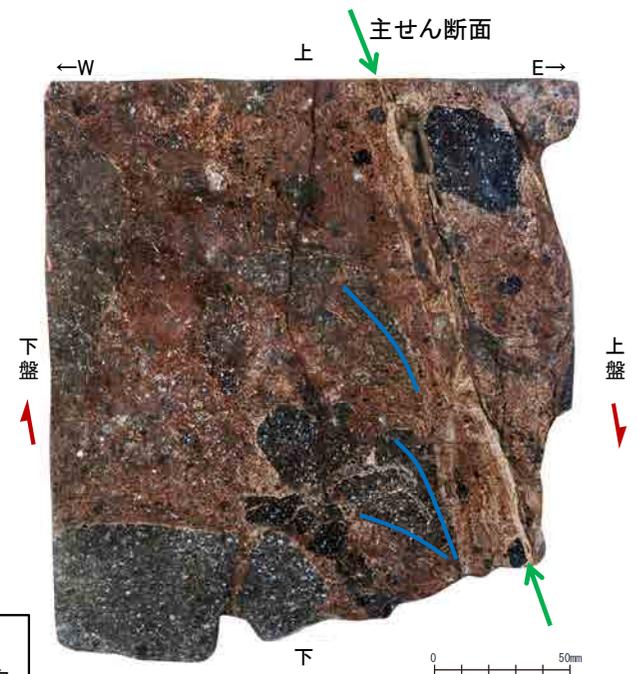
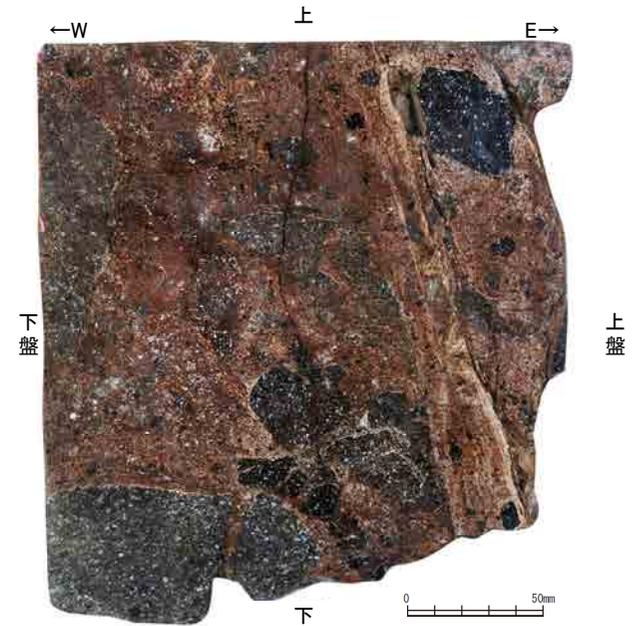
・固結した破碎部中の変形構造から、見かけ上盤側下がりの正断層センスが認定できる。



調査位置図



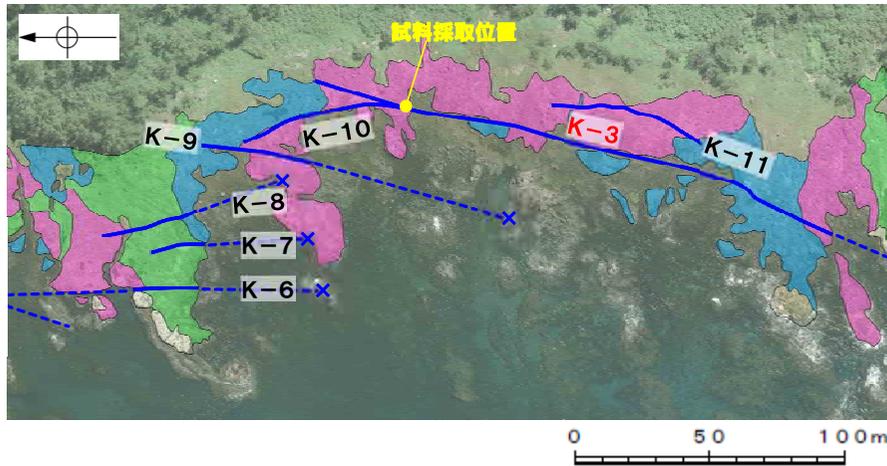
試料採取位置



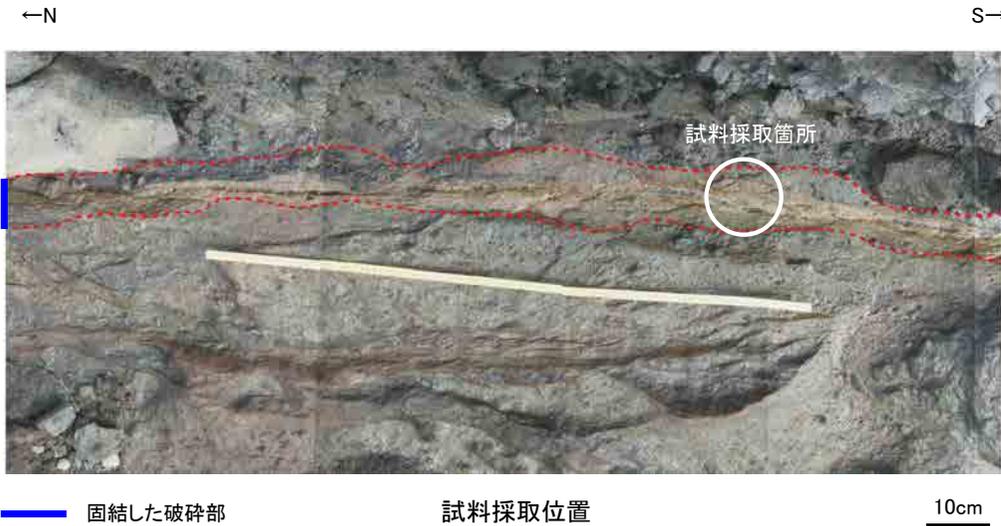
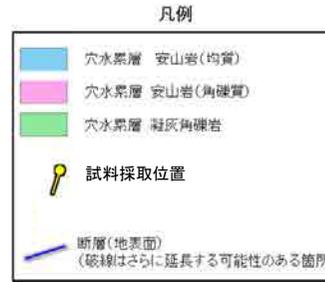
研磨片写真(下は変形構造を加筆)

・固結した破碎部中の変形構造から、見かけ上盤側下がりの正断層センスが認定できる。

# 研磨片観察結果(K-3)



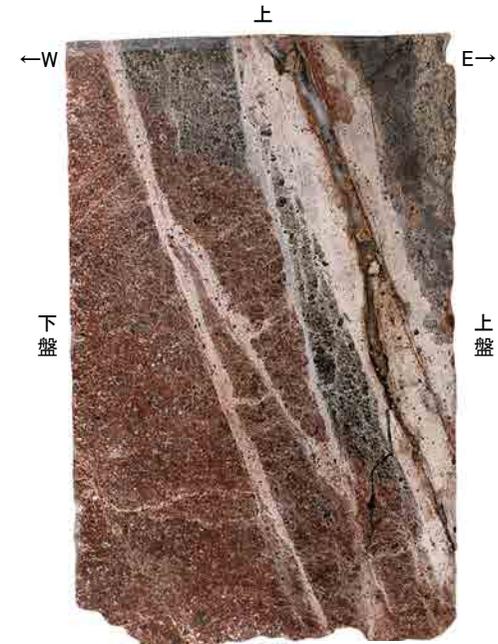
調査位置図



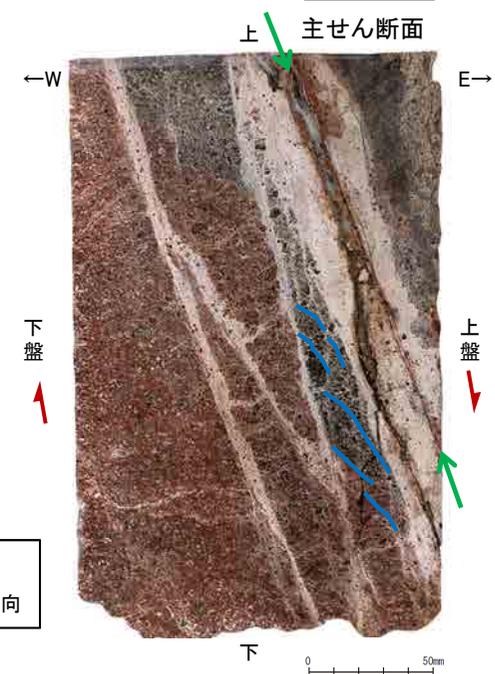
固結した破砕部

試料採取位置

10cm



下 0 50mm



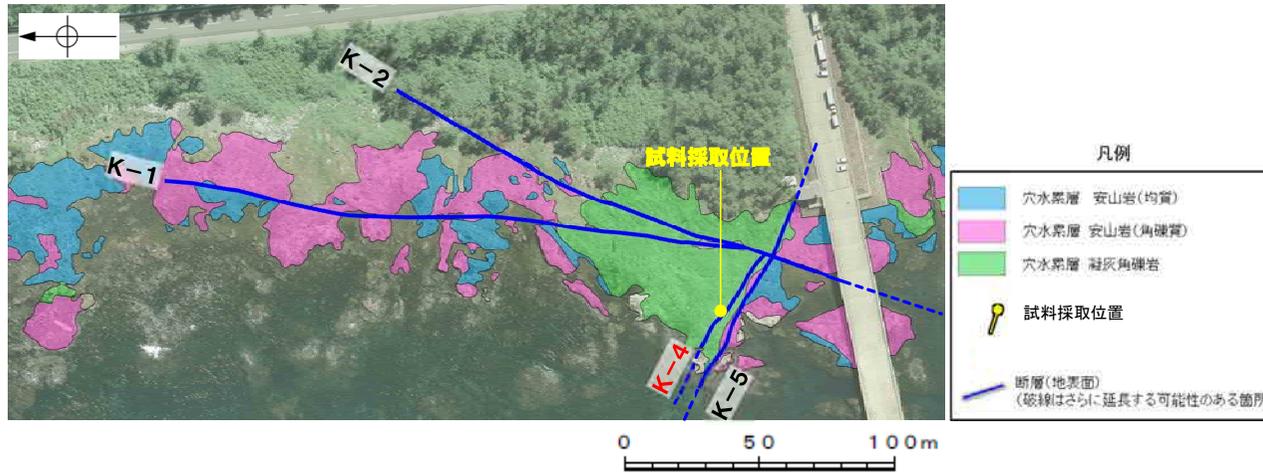
下 0 50mm



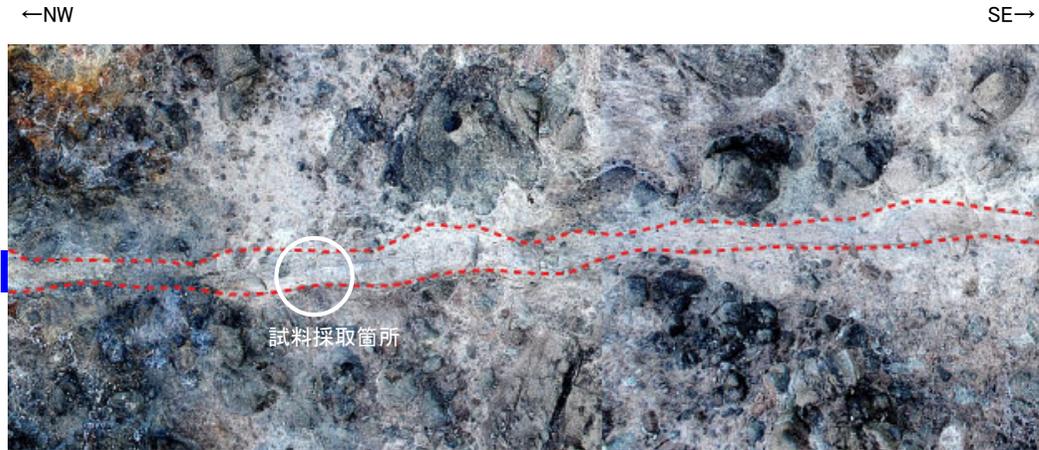
・固結した破砕部中の変形構造から、見かけ上盤側下がりの正断層センスが認定できる。

研磨片写真(下は変形構造を加筆)

# 研磨片観察結果(K-4)

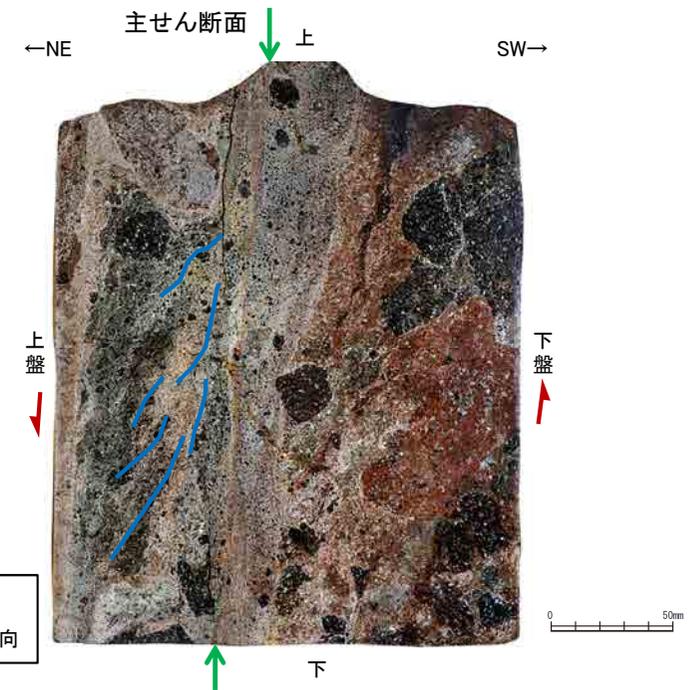
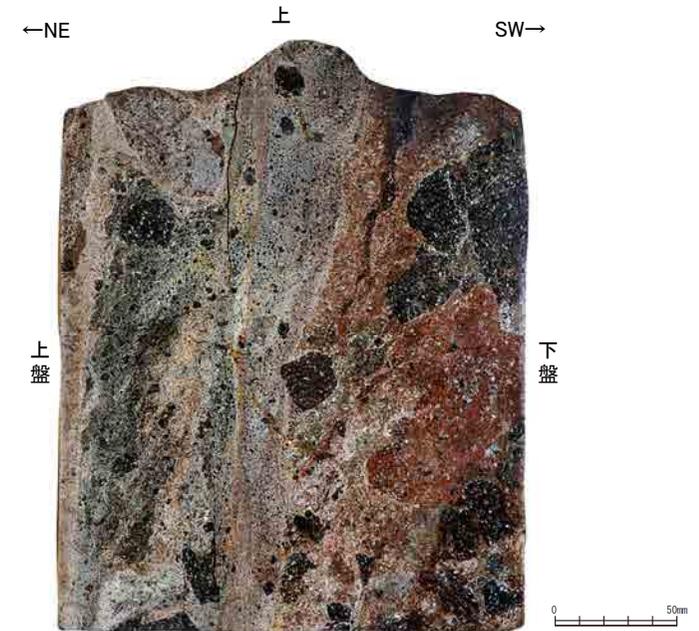


調査位置図



固結した破砕部

試料採取位置



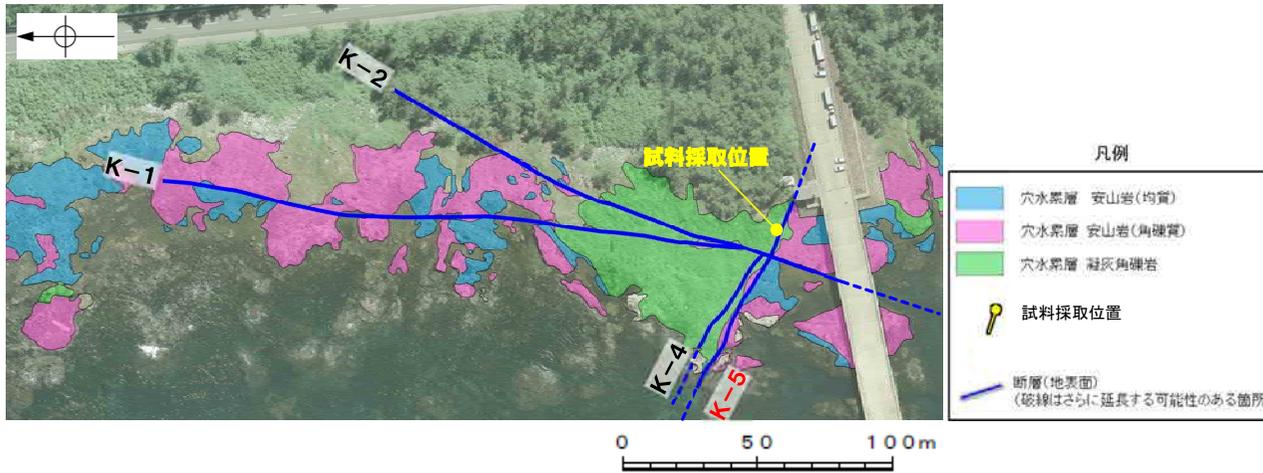
研磨片写真(下は変形構造を加筆)

・固結した破砕部中の変形構造から、見かけ上盤側下がりりの正断層センスが認定できる。

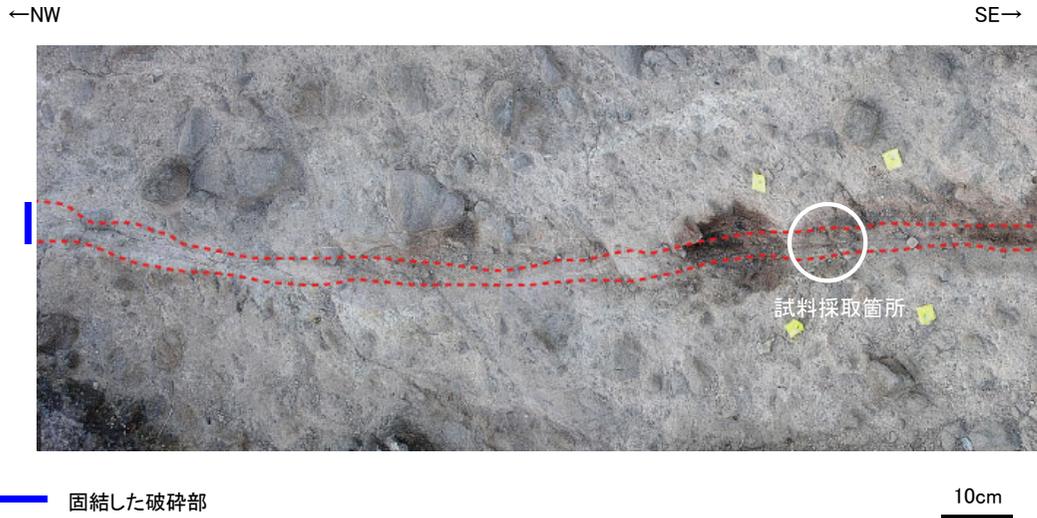
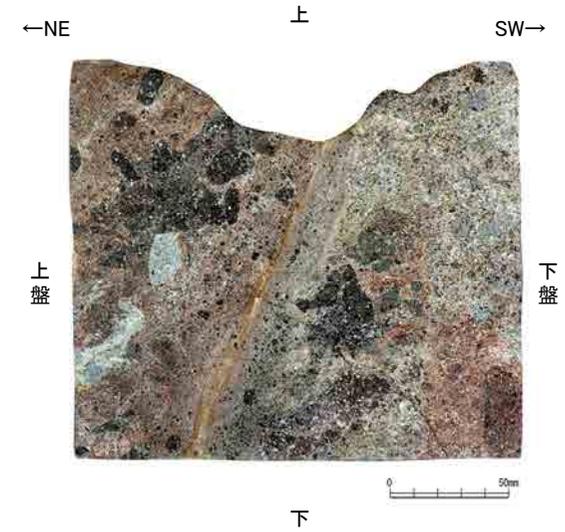
---

## (3)-11 K-5の薄片観察結果

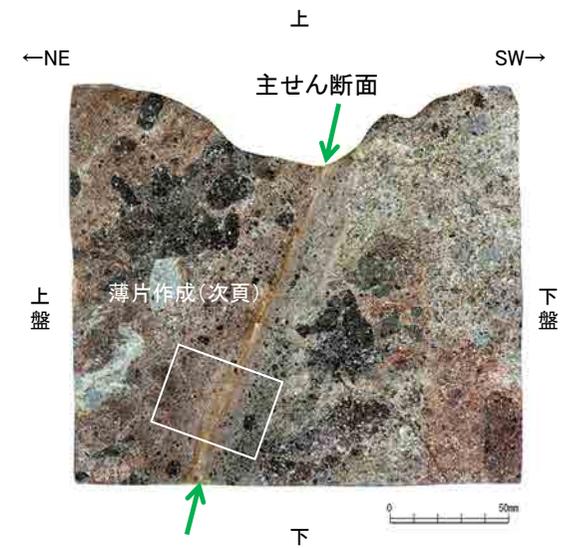
# 研磨片観察結果(K-5)



調査位置図



試料採取位置



研磨片写真(下は主せん断面を加筆)

# 薄片観察結果(K-5)

■ブロックサンプルを鉛直方向に切断して作成した薄片を観察した。

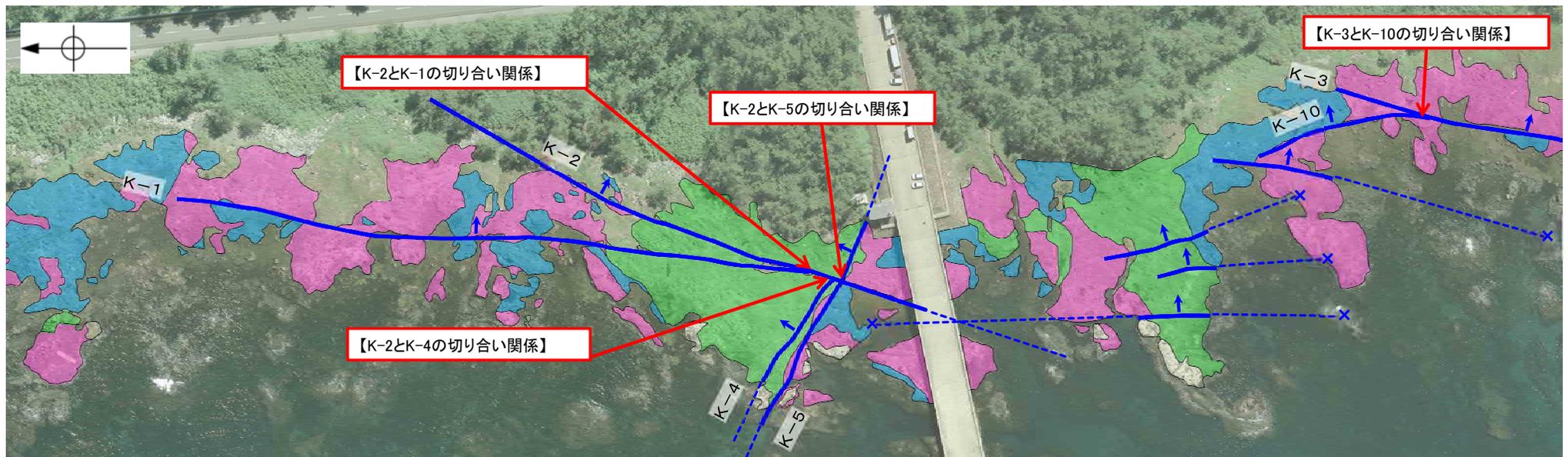
	顕微鏡観察(右に構造等を加筆)	顕微鏡観察 拡大(右に構造等を加筆)
K-5	<p>(単ニコル)</p>	<p>(単ニコル)</p>
	<p>(直交ニコル)</p>	<p>(直交ニコル)</p>

・固結した破砕部中の変形構造から、見かけ上盤側下がりの正断層センスが認定できる。

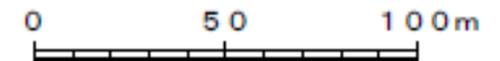
---

(3)-12 K-2, K-3の露頭観察結果(各会合部)

# 露頭観察結果(K-2, K-3の各会合部)

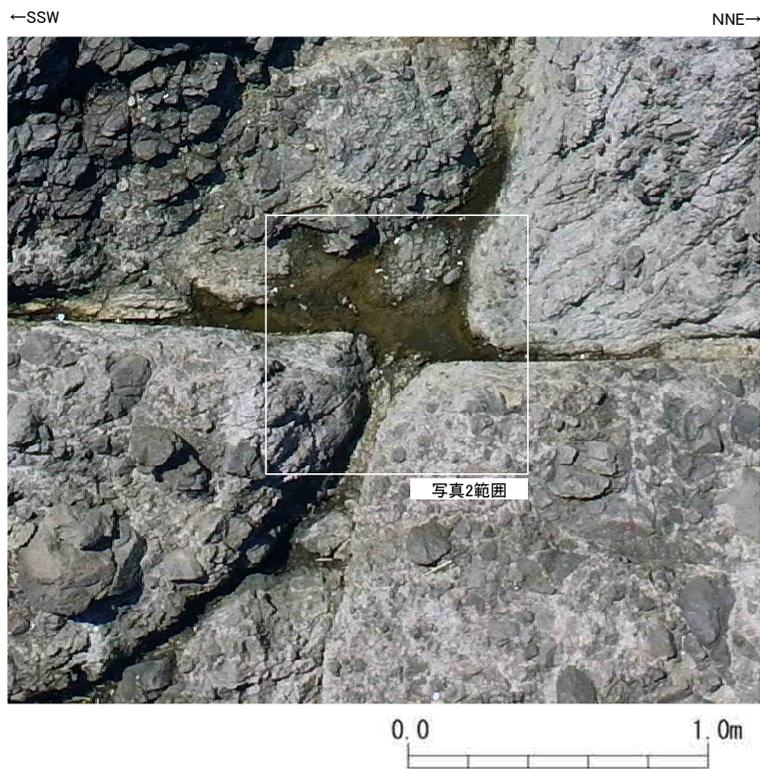


海岸部の断層会合部の調査位置図

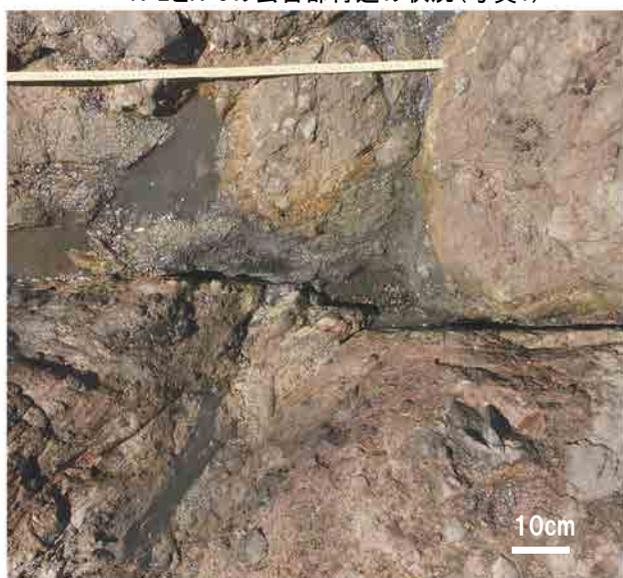


凡例

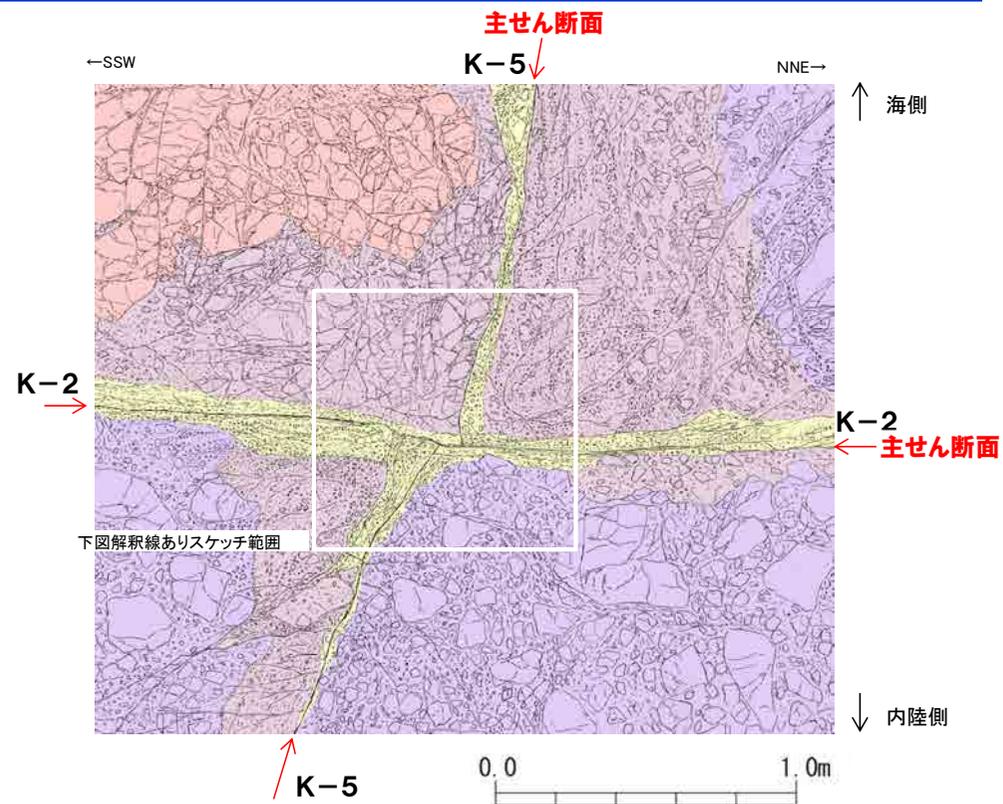
- 穴水層 安山岩(均質)
  - 穴水層 安山岩(角礫質)
  - 穴水層 凝灰角礫岩
  - 断層(地表面)  
(破線はさらに延長する可能性のある箇所)
  - 断層延長部の露岩域で断層が認められないことを確認したもの
  - 断層端部を確認していないもの
- 矢印(▲)の向きは断層の傾斜方向を示す



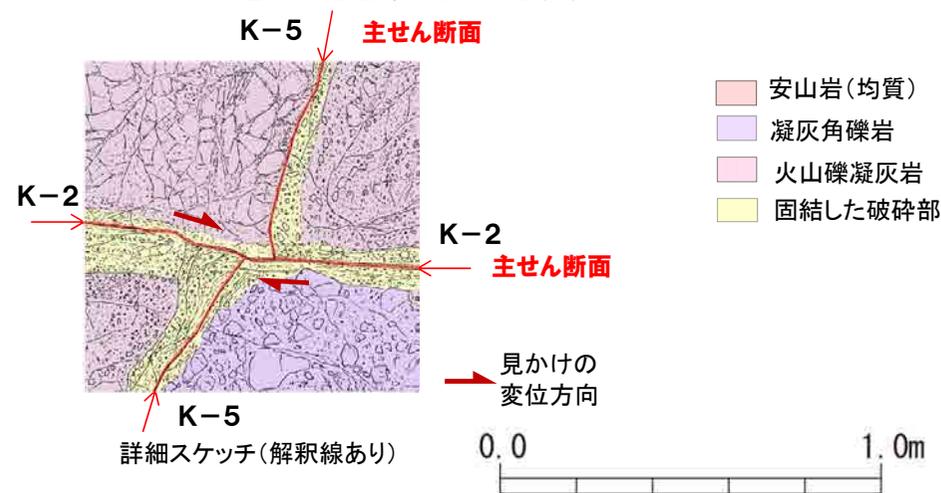
K-2とK-5の会合部付近の状況 (写真1)



K-2とK-5の会合部付近拡大 (写真2)



K-2とK-5の会合部付近の状況 (詳細スケッチ)



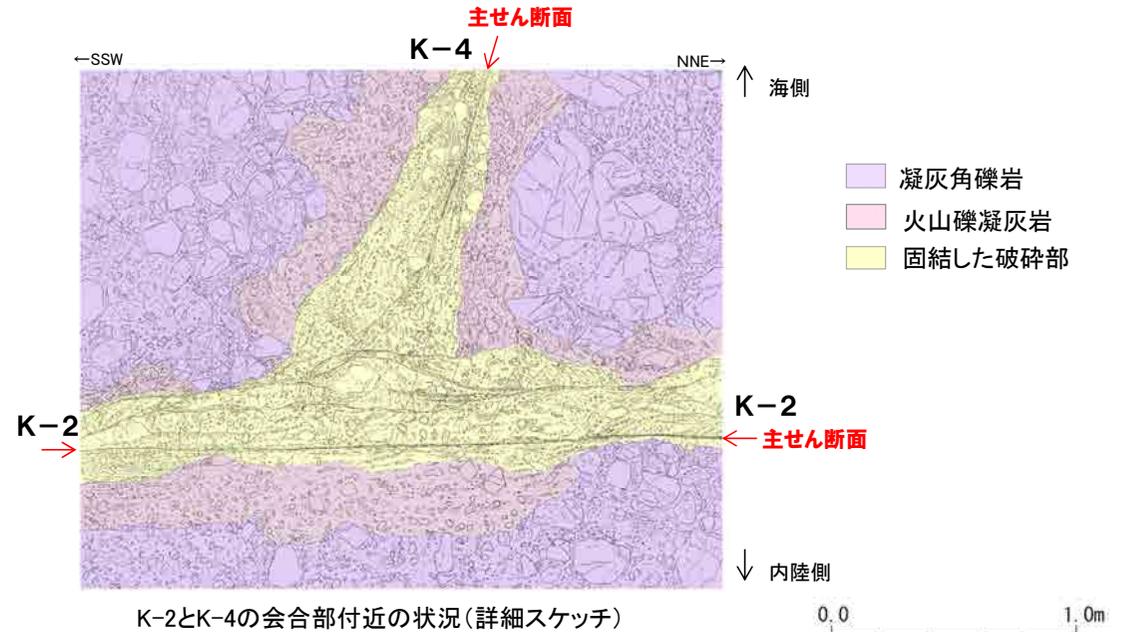
・K-5の主せん断面は、K-2の主せん断面によって切断され、見かけ右横ずれにより約20cmずらされている。



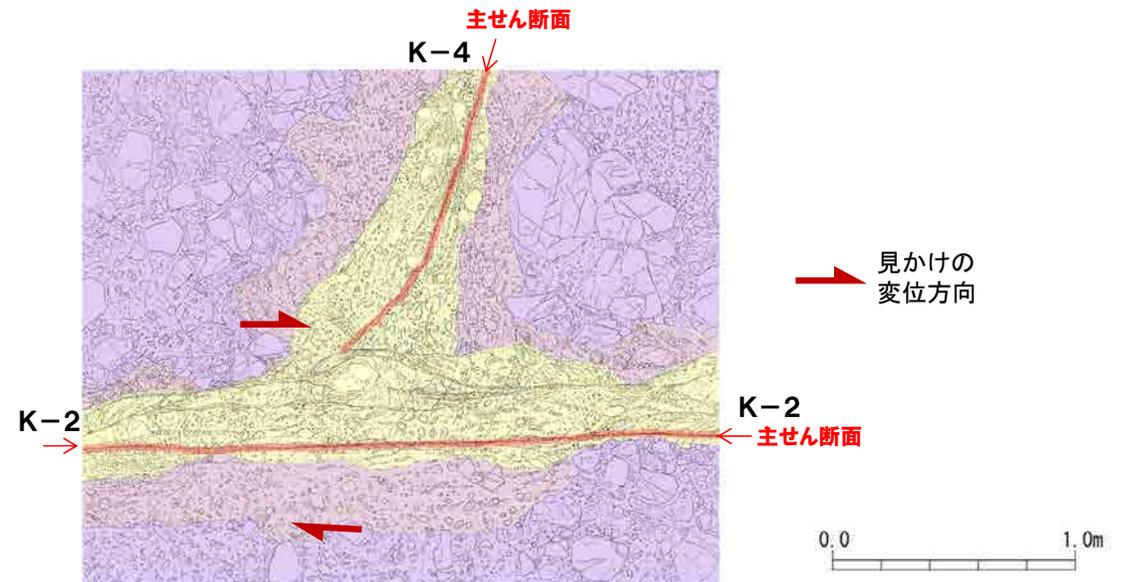
K-2とK-4の会合部付近の状況 (写真1)



K-2とK-4の会合部付近拡大 (写真2 サンプル前)



K-2とK-4の会合部付近の状況 (詳細スケッチ)

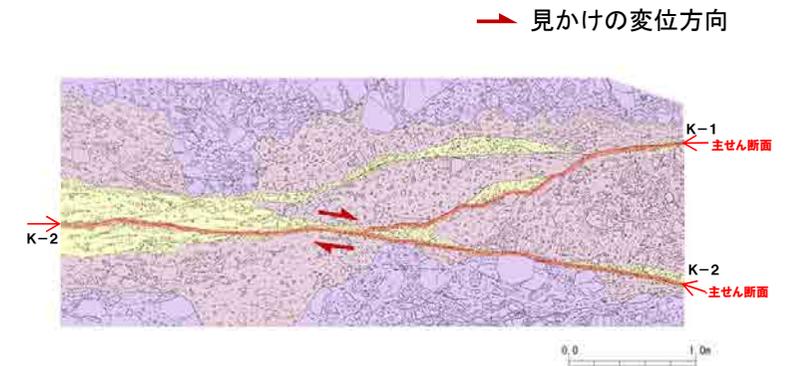


詳細スケッチ (解釈線あり)

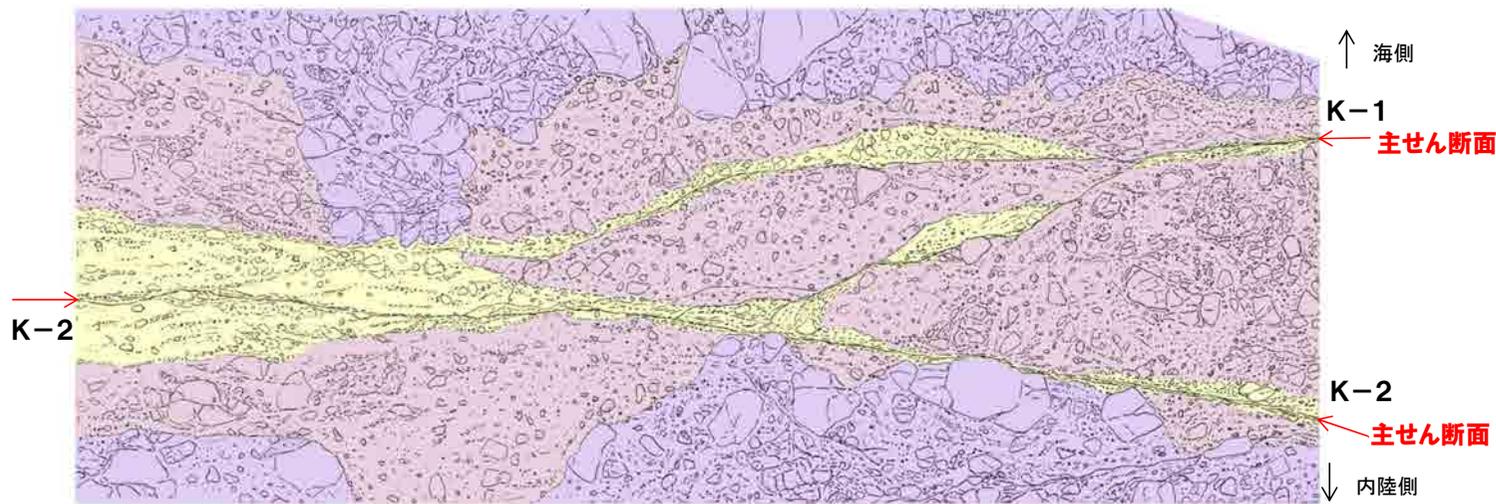
・K-4の主せん断面はK-2との会合部付近で、K-2の見かけ右横ずれにより引きずられる形状を示す。



K-2とK-1の会合部付近の状況 (写真)



詳細スケッチ (解釈線あり)



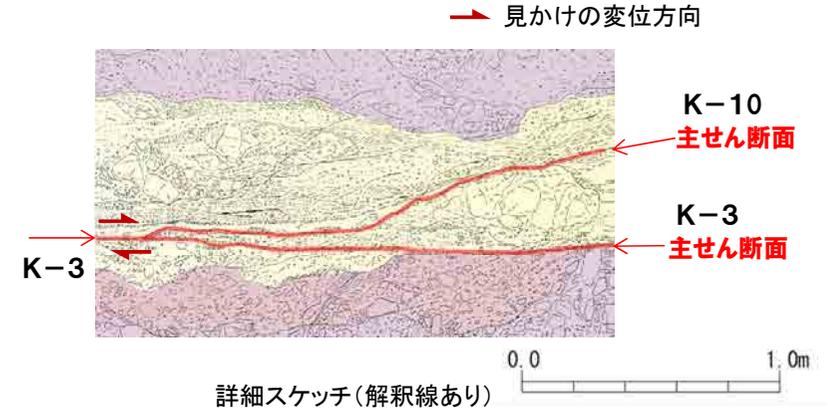
K-2とK-1の会合部付近の状況 (詳細スケッチ)

- 凝灰角礫岩
- 火山礫凝灰岩
- 固結した破碎部

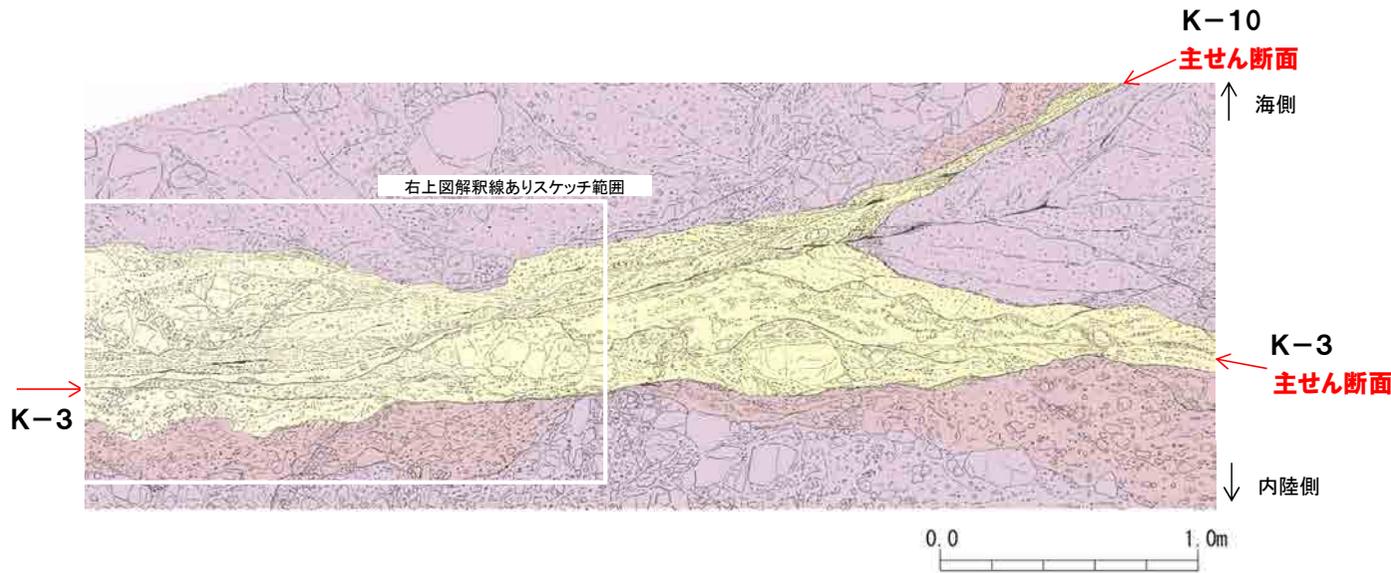
・K-1の主せん断面はK-2との会合部付近で、K-2の見かけ右横ずれにより引きずられる形状を示す。



K-3とK-10の会合部付近の状況 (写真)



詳細スケッチ (解釈線あり)



K-3とK-10の会合部付近の状況 (詳細スケッチ)

- 安山岩 (角礫質)
- 火山礫凝灰岩
- 固結した破碎部

・K-10の主せん断面はK-3との会合部付近で、K-3の見かけ右横ずれにより引きずられる形状を示す。

# 参考文献

---

- 物理探査学会(2008):物理探査適用の手引きー土木物理探査マニュアル2008ー, 物理探査学会.
- 物理探査学会(2016):物理探査ハンドブック増補改訂版, 物理探査学会.
- 防災科学技術研究所(2001):地すべり地形分布図 第12集「金沢・七尾・輪島」, 防災科学技術研究所研究資料, 第210号.
- 石川県(1997):1:33,000漁場環境図「富来・志賀・羽咋海域」, 石川県.
- 狩野謙一・村田明広(1998):構造地質学, 朝倉書店.
- 野原幸嗣・野口猛雄・穴田文浩・浜田昌明・小野田敏・沼田洋一・山野芳樹・鈴木雄介・佐藤比呂志(2007):航空レーザ計測による2007年能登半島地震の地殻変動, 82, 321-331.
- Ricker. N.(1953):Wavelet contraction, wavelet expansion, and the control of seismic resolution, Geophysics, 18, 769-792.
- 高橋明久(2017):わかりやすい物理探査 反射法地震探査(その2:反射法断面図と垂直分解能), 物理探査ニュース, No35, 1-3.

---

余白